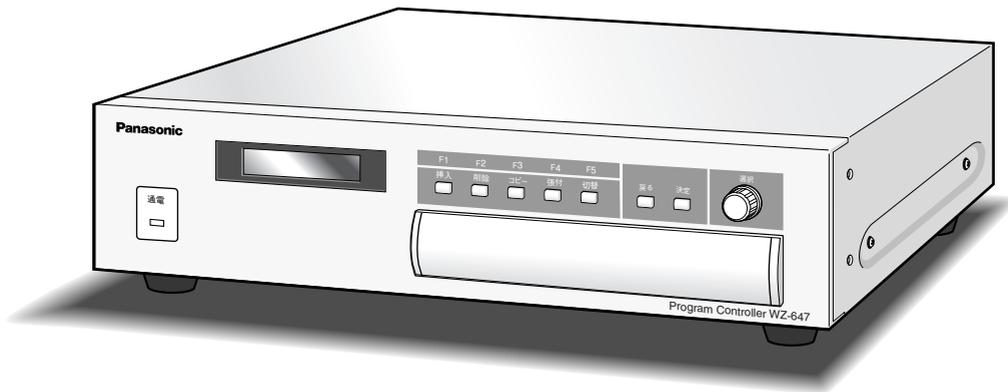


## 取扱説明書

工事説明付き

### プログラムコントローラー 品番 WZ-647



#### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ **ご使用前に「安全上のご注意」(9～11ページ)は、必ずお読みください。**
- ・ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

## 商品概要

本機はあらかじめ設定された時刻にリレー接点をON/OFFするプログラムコントローラー（年間タイマー）です。制御入力を持つ放送機器と組み合わせることで、公共施設、店舗、職場などの放送サービスを制御できます。指定した時刻に、始業や休憩、終業の合図などを自動的に放送することができます。

## 機能概要

### プログラム管理機能

- ・あらかじめ、曜日、時、分、秒単位ごとにプログラムを作成することによって、放送する機器を制御できます。
- ・祝祭日などの年間スケジュールをあらかじめプログラムできます。年間スケジュールは実行する月、日に実行したい特定日用のプログラムを割り当てることによって使用できます。
- ・機能ボタンに、作成したプログラムを割り当てることができます。機能ボタンを押すだけで、実行中のプログラムをボタンに割り当てられているプログラムに差し換えることができます。

### プログラム・システム設定のバックアップ機能

本機は、PCカード用スロットを搭載しています。PCカード（別売品）に、プログラムおよびシステム設定内容をセーブ（保存）して管理できます。

- ・システムに異常が発生した場合、保存したプログラムおよびシステム設定をロード（読み込み）することによって復旧できます。
- ・セーブしたプログラムおよびシステム設定ファイルは、ほかのWZ-647にロードさせて使用することもできます。

### 制御機能

本機は、プログラムまたは手動で、接点制御出力をON/OFFできます。

#### 接点制御出力制御機能

本機は、接点制御出力を8個装備しています。増設リレーユニット（WZ-643）（別売品）を接続すれば最大98（9台時）個までの接点制御出力を制御できます。

#### RS-232Cによる演奏機器の操作機能

演奏機器に対して、音楽（またはメッセージ）を直接指定して、放送を制御することができます。

### 時計補正機能

外部FMチューナーから入力した時報音声または親時計から送られてくる信号で本機の時計を自動的に補正できます。

### パーソナルコンピューター（PC）による操作

本機で使用するプログラムおよびシステム設定は、PCで編集することができます。これらの操作を行うためには、WZ-647設定支援ソフトが必要です。WZ-647設定支援ソフトの入手方法は販売会社にお問い合わせください。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....	1冊
保証書.....	1式
ラックマウント金具.....	2個
ラックマウント本体取付ねじ（M4×10mm）.....	4個
ラック取付ねじ（M5×12mm）.....	4個
ゴム足.....	4個
束線バンド.....	1本
電源コード（電源プラグ付き）.....	1本

## 本書について

### 用語について

- 接点制御出力 : 本機後面または増設リレーユニットのねじ端子 (リレー接点) のことです。
- 演奏機器 : 当社デジタルICレコーダー (WZ-DP250/200)、デジタルICプレーヤー (WZ-DP150/100) またはCDミュージックプレーヤー (WB-651/655) のことです。
- PCカード : PC Card StandardタイプIIに準拠したカードです。ここではSDメモリーカード (別売品) にPCカードアダプター (別売品) を装着したもの、またはコンパクトフラッシュ (別売品) にPCカードアダプター (別売品) を装着したものを使用します。
- セーブ : PCカードにシステム設定またはプログラムを保存することです。
- ロード : PCカードに保存されているシステム設定またはプログラムを本機に読み込ませることです。

### 記号について

: 本機前面にあるボタンを表しています。

### 液晶画面について

説明中の画面と、実物の画面とでは画面の表示方法が一部異なる場合があります。  
本書では、設定中の項目を明確にするため白抜き文字 (反転表示) で表現しています。

## 商標および登録商標について

- ・ CompactFlash (コンパクトフラッシュ) は、米国SanDisk社の登録商標です。
- ・ その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ② お客様の故意、誤使用や不注意による損害または本商品の破損など
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、放送ができないなどで被る不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器と組合せたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥ 取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦ 登録した情報内容が何らかの原因により消失してしまうこと

# もくじ

商品概要	2
機能概要	2
付属品をご確認ください	3
本書について	4
商標および登録商標について	4
免責について	4
安全上のご注意	9
使用上のお願い	12
各部の名前と働き (前面)	14
メニュー遷移図	16
<b>操作のしかた</b>	<b>19</b>
操作を始める前に .....	19
電源投入時の動作 .....	19
運用中の操作 .....	20
キーロックのしかた .....	21
液晶画面による操作 .....	22
メイン メニューの表示と消去 .....	22
メッセージに対する操作 .....	22
プログラムの実行・停止 .....	23
時刻の修正 .....	24
制御出力の動作状況の確認 .....	25
制御出力の手動制御 .....	26
液晶 (LCD) バックライトの点灯/消灯 .....	27
プログラムの修正 .....	28
機能ボタンによる操作 .....	32
基本操作 .....	32
個別リレー操作 .....	32
複数リレー操作 .....	32
演奏機器の再生 .....	33
機能ボタンによるプログラムの差し換え .....	33
制御出力制御の優先順位について .....	34
<b>故障と思われましたら</b>	<b>35</b>

<b>プログラムの作成</b>	<b>37</b>
作成できるプログラムの種類 .....	37
プログラム作成作業の流れ .....	38
作成手順の概要 .....	38
プログラム作成時の注意 .....	39
週間プログラムを作成する .....	40
制御出力に対するプログラム .....	40
演奏機器に対するプログラム .....	42
特定日用のプログラムを作成する .....	44
制御出力に対するプログラム .....	44
演奏機器に対するプログラム .....	44
年間スケジュールの作成 .....	45
プログラムのテスト .....	46
プログラムのセーブとロード .....	48
セーブのしかた .....	48
ロードのしかた .....	50
プログラムの消去 .....	52

<b>工事説明</b>	<b>53</b>
-------------	-----------

<b>工事を始める前に</b>	<b>53</b>
-----------------	-----------

作業概要 .....	53
以下の場所には設置しないでください.....	53
横置き（水平）に設置してください.....	53
雑音源は避ける .....	54
アース（設置）について.....	54
電源について .....	54
時刻自動補正機能を使用する場合 .....	54
各部の名前と働き（後面） .....	55

<b>設置のしかた</b>	<b>57</b>
---------------	-----------

ラックにマウントする場合 .....	57
ラックにマウントするときは .....	57
ラックに取り付ける .....	57
据置形として使用する場合 .....	57

<b>接続のしかた</b>	<b>58</b>
---------------	-----------

制御出力端子の接点容量について .....	58
接続ケーブルについて .....	58

業務用放送の制御のしかた .....	59
電源制御 .....	59
放送制御 .....	59
ハイパワーアンプとの接続 .....	60
放送制御 .....	60
デジタルICレコーダー／プレーヤーとの接続 .....	61
増設リレーユニットとの接続 .....	62
時計補正用機器との接続 .....	63
親時計を使用して時計を補正する場合 .....	63
FMチューナーを使用して時計を補正する場合 .....	64
RS-232C端子による接続 .....	65
当社製演奏機器との接続 .....	65
パーソナルコンピューターとの接続 .....	66

## システム設定 67

作業手順 .....	67
設定スイッチの設定 .....	67
電源コードの接続 .....	68
基本動作に関する設定 .....	68
ユニット設定の実行 .....	69
時計の設定 .....	70
システム設定メニューによる基本動作の設定 .....	71
システム設定の実行 .....	72
機能ボタンへの機能の割り当て .....	73
キーロック設定 .....	80
通電時の起動方法の設定（オートスタート） .....	81
日付変更時刻の設定 .....	82
制御出力名称の設定 .....	83
RS-232C端子接続機器、増設リレーユニットの台数の設定 .....	83
システム設定のセーブとロード .....	85
セーブのしかた .....	85
ロードのしかた .....	86
文字の入力方法 .....	88
時計補正方法の設定 .....	89
設定の初期化 .....	90

**ユニット点検** 91

ユニット点検の実行 .....	91
通信チェック .....	92
バックアップ電池の電圧チェック .....	93
プレーヤー演奏のチェック .....	93
リレー動作のチェック .....	94

**設定用紙** 95

設定スイッチ設定表 .....	95
ユニット設定表 .....	95
時計補正入力設定表 .....	95
機能ボタン設定表 .....	96
リレー名称登録表 .....	97
接点制御出力 (R001～R008、R010～R099) .....	97

**プログラム記入用紙** 98

特定日用プログラム割付表 .....	98
プログラム記入表 .....	99

**エラーメッセージ一覧** 101**お買い上げ時の設定値** 102**索引** 103**仕様** 105**保証とアフターサービス (よくお読みください)** 裏表紙

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一部です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

<b>工事は販売店に依頼する</b>  工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。  ・必ず販売店に依頼してください。	<b>異物を入れない</b>  水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。 <b>禁止</b>	<b>分解しない、改造しない</b>  火災や感電の原因になります。 <b>分解禁止</b>
<b>機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない</b>  水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。 <b>水ぬれ禁止</b>	<b>異常があるときは、すぐ使用をやめる</b>  煙が出る、臭いが出るなど、そのまま使用すると火災の原因になります。  ・ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	<b>不安定な場所に置かない</b>  落下などでけがの原因になります。 <b>禁止</b>

## ⚠ 警告

### 電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまる、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- ・傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

( 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない )



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- ・コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

### 雷のときは工事、配線をしない



禁止

火災や感電の原因になります。

### 取り付けねじは、しっかりとしめる



落下などで、けがの原因になります。

- ・取付工事は販売店に依頼してください。

### アースを確実に取り付ける



本機の電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。アースは確実に行ってご使用ください。アースを取り付けないと、故障や漏電のときに、感電する恐れがあります。

- ・アース工事は販売店にご相談ください (アース工事費は、本製品の価格には含まれていません)。

## ⚠ 注意

### 湿気やほこりの多い場所に設置しない



禁止

火災や感電、故障の原因になります。

### リチウム電池は同一型名または同等品と交換する



異なる型の電池を使用すると、発熱、破裂、発火の原因になります。

・交換は必ず販売店にご依頼ください。

### 振動や強い衝撃を与えない



禁止

火災や感電、故障の原因になります。

# 使用上のお願い

---

**⚠ 警告、⚠ 注意**に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

**使用電源はAC 100 Vです。**

消費電力の大きな機器（複写機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

**使用温度範囲は0 °C～45 °Cです。**

この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与え故障または誤動作の原因となります。

**内蔵バックアップ電池には寿命があります。**

内蔵バックアップ電池はリチウム1次電池を使用しており、寿命があります。約4年を目安に交換してください（ただし、この時間は交換の目安であり、寿命を保証するものではありません）。寿命がすぎると、液晶画面にエラー表示されます。エラー表示された場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

**電源について**

本機に、電源スイッチはありません。電源を遮断するときは電源コードを抜いてください。電源コードは、必ず遮断装置を介して、次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）を介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

**お手入れについて**

電源コードをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。

シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

**PCカードについて**

使用可能なPCカードは次のとおりです。

- ① PCカードアダプターにSDメモリーカードを装着したもの
- ② PCカードアダプターにコンパクトフラッシュを装着したもの

動作確認済みのSDメモリーカード、コンパクトフラッシュおよびPCカードアダプターは販売会社にお問い合わせください。

---

長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 使用場所について

- ・ 本機は室内専用機器です。
- ・ 水滴または水しぶきのかからない状態で使用してください。
- ・ 花瓶など液体の入ったものを本機の上に置かないでください。

### 結露について

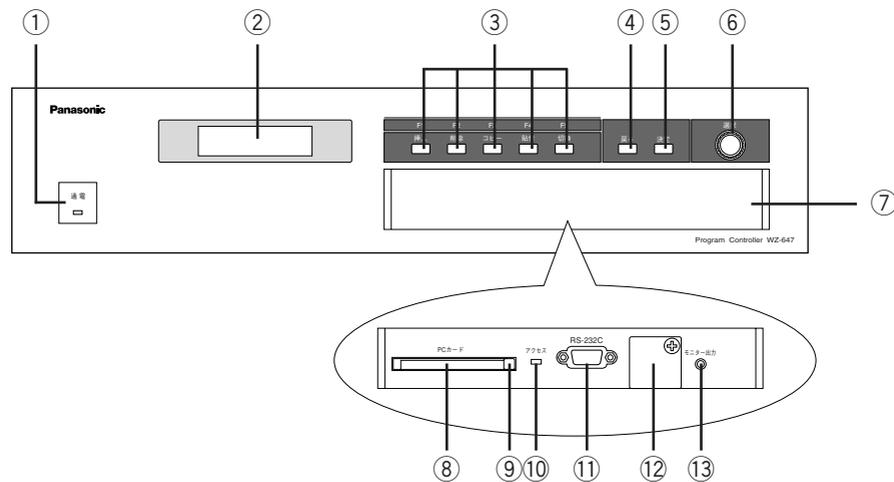
結露は故障の原因になりますので注意してください。

以下のようなときに結露が発生しやすくなります。

- ・ 湿度が高いとき
- ・ 冷たい場所から、温度や湿度の高い場所に移動したとき

結露が発生した場所は、1～2時間程度放置して、結露がなくなったことを確認してから電源を入れてください。

# 各部の名前と働き（前面）



## ① 通電表示

電源が供給されているときに点灯します。

## ② 液晶画面 [LCD]

電源が供給されると日時が表示されます。操作を行うと操作内容またはメッセージが表示されます。

## ③ 機能ボタン (F1～F5)

各ボタンに、割り当てられている機能を実行するときに押します。各ボタンの機能はシステム設定時に割り当てます。

なお、プログラム作成中は、以下の機能に切り換わります。

F1：挿入 F2：削除 F3：コピー F4：貼付 F5：切換

## ④ 戻るボタン

押すと、液晶画面の表示が前の画面に戻ります。メニュー画面表示中は、設定項目または設定操作を取り消すときに使います（設定中の内容は破棄されます）。

## ⑤ 決定ボタン

液晶画面に、メインメニューを表示するときに押します。メインメニューでプログラムの作成や本機の設定を行うことができます。メニュー画面表示中は、設定項目または設定内容を決定するときに使います。

## ⑥ 選択ダイヤル

メインメニュー表示中、左右に回して設定項目を選択できます。

選択ダイヤルを押すと、カーソルを移動することができます。

## ⑦ 前面ふた

前面ふたは、ほこりや静電気から保護する働きがあります。通常は閉じた状態でご使用ください。

---

**⑧ PCカードスロット**

PCカードを挿入します。

イジェクト機構が突出したPCカードアダプターを使用すると、前面ふたを閉じたとき、前面ふたにイジェクト機構が触れる場合がありますので注意してください。

**⑨ 取出ボタン**

PCカードを取り出すときに押します。

**⑩ アクセス表示**

PCカードに対して読み書きを行っているとき点灯します。

PCカードを挿入すると、正常に認識した時点（約10秒後）に一瞬点灯します。アクセス表示が点灯しない場合はPCカードを確認してください。

---

**重要** アクセス表示が点灯しているときは、絶対に押さないでください。PCカードまたは内部データが破壊されることがあります。

---

**⑪ RS-232C端子**

この端子にパーソナルコンピュータ（PC）を接続すれば、設定支援ソフトで本機を制御できます。設定支援ソフトについては販売会社にご相談ください。

---

**メモ** RS-232C端子は本機後面にもあります。両方の端子を同時に使用することはできません。どちらの端子を使用するかは設定スイッチで設定します。詳しくは67ページをお読みください。

---

**⑫ 設定スイッチカバー**

設置業者以外のかたは、カバーを外さないでください。

---

**重要** 内部には、設定スイッチがあります。設定を変更するとシステムが動作しなくなる場合がありますので、設置業者以外のかたは操作しないでください。

---

**⑬ モニター出力端子**

ヘッドホンを接続して、接続した外部FMチューナーの音をモニターできます。

# メニュー遷移図

## 日時表示画面

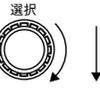
2007.09.01 (Sat)  
12:34:56

決定  
戻る

## メインメニュー

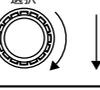
メインメニュー  
> ジョコウキリカエ

実行中→停止  
停止中→実行  
(23ページ参照)



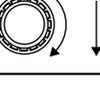
メインメニュー  
> ジョク シュウセイ

時計の時刻を修正  
時分  
(年月日は修正不可)  
(24ページ参照)



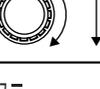
メインメニュー  
> プログラム セッテイ

決定  
戻る  
(28、40ページ参照)



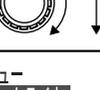
メインメニュー  
> リレー トウサ ヒョウジ

制御出力ごとに、現在の  
動作状況を表示  
(25ページ参照)



メインメニュー  
> リレー シュドウ セイギ ヨ

制御出力の状態を切り換え  
ON/OFF/AUTO  
(26ページ参照)



メインメニュー  
> LCDバックライト

LCDバックライトの点灯方法を設定  
ON:常時点灯  
OFF:常時消灯  
AUTO:自動  
(27ページ参照)



メインメニュー  
> トゲイ ホセイニユウリョク

外部FMチューナーを使用し、時計を補正する場合、  
受信しきい値を設定  
(89ページ参照)



メインメニュー  
> ロネット セッテイ

決定  
戻る  
(69ページ参照)



メインメニュー  
> ロネット テンケン

決定  
戻る  
(91ページ参照)



## プログラム設定メニュー

プログラム セッテイ  
> プログラム サクセイ

プログラムを作成  
(40ページ参照)



プログラム セッテイ  
> プログラム ロード

PCカード内のプログラ  
ムの読み込み  
(50ページ参照)



プログラム セッテイ  
> プログラム セーブ

PCカードにプログラ  
ムを保存  
(48ページ参照)



プログラム セッテイ  
> プログラム テスト

今日、週間プログラム、  
特定日用プログラムの動  
作テスト  
(46ページ参照)

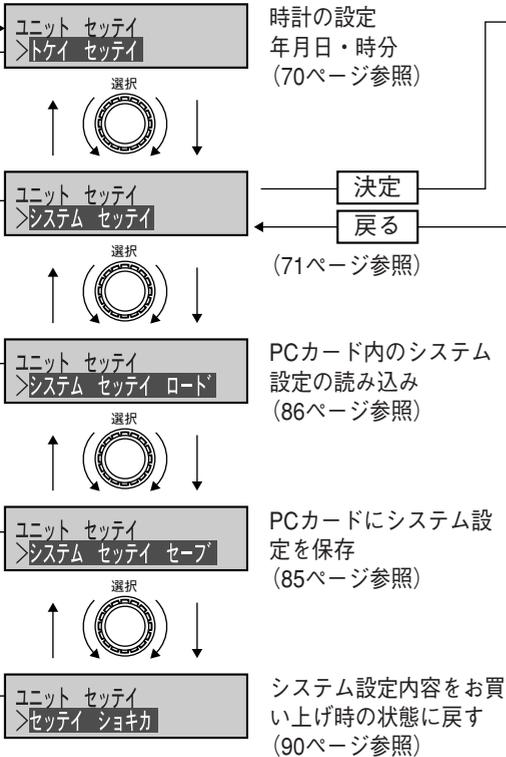


プログラム セッテイ  
> プログラム クリア

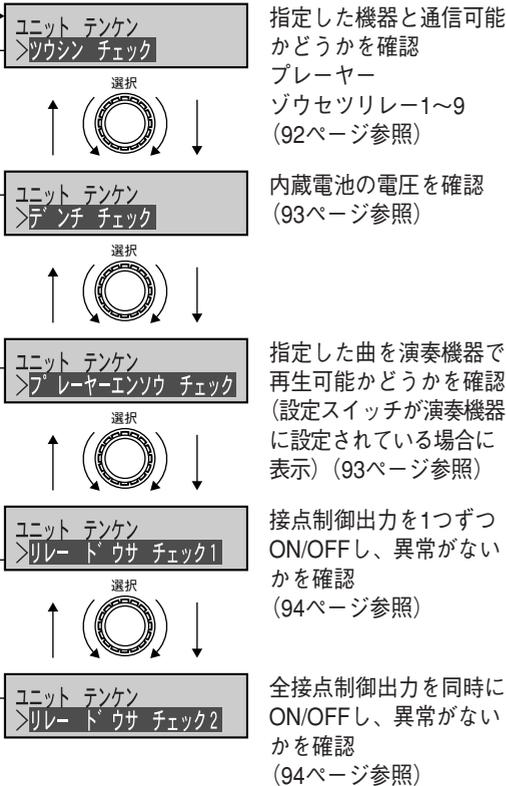
登録されているプログラ  
ムをすべて消去  
(52ページ参照)

実行時、プログラムを停止する必要がある項目。  
操作完了後、手動でプログラムを実行する必要があります。

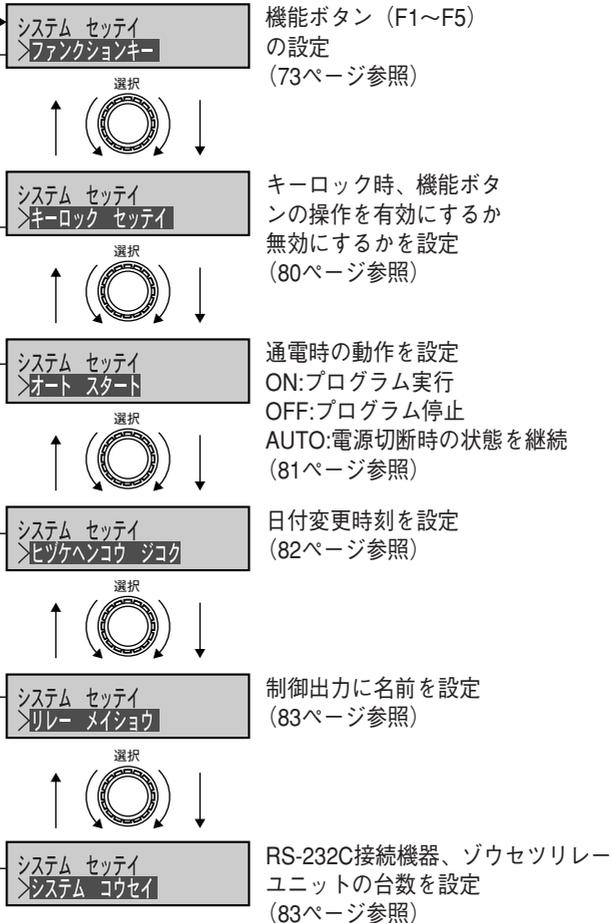
### ユニット設定メニュー



### ユニット点検メニュー



### システム設定メニュー





# 操作のしかた

本機は、曜日または月日に設定されているプログラムに従って放送を制御します。プログラムを実行/停止したり、使用するプログラムを差し換えたりすることもできます。ここでは、本機の操作のしかたについて説明します。

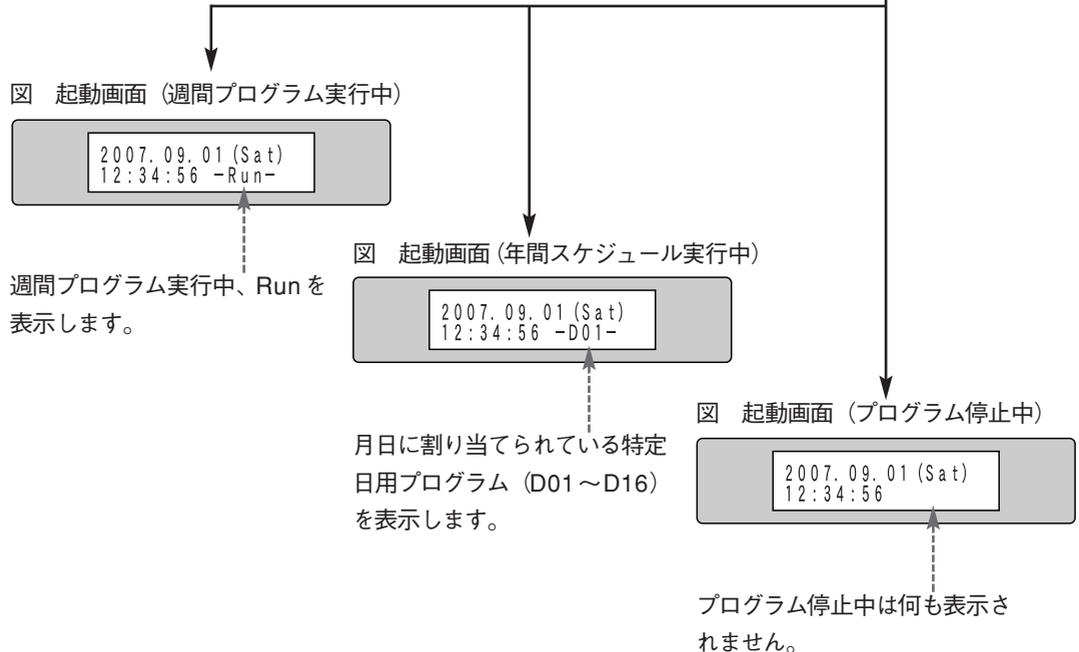
**お願い** 本機を使用するためには、プログラムをあらかじめ作成する必要があります。プログラムを作成していない場合は、37ページを参照し、プログラムを作成してください。

## 操作を始める前に

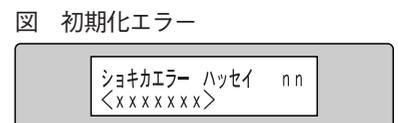
ここでは、本機の基本動作について説明します。

### 電源投入時の動作

本機は、電源投入時、初期化を行いシステムの状態をチェックします。チェック後、異常がなければ液晶画面に日時を表示し、運用モードになります。その後、設定されているプログラムに従って動作します。

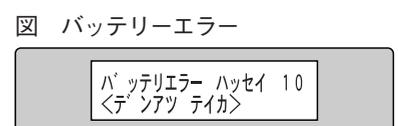


**初期化エラーについて** 通電開始時、本機はシステムチェックを行います。システムチェック中に異常を発見すると、液晶画面に初期化エラーを表示してお知らせします。初期化エラーが表示されたときはエラー番号とエラー内容を記録した後、販売店にご相談ください。



nn：エラー番号  
xxxxxxxx：エラーメッセージ

**バッテリーエラーについて** 本機は、定期的に内蔵バックアップ電池の電圧をチェックします。交換が必要な場合、液晶画面にバッテリーエラーを表示し、お知らせします。エラー表示されたときは販売店にご相談ください。



## 運用中の操作

本機は、液晶画面に表示されるメインメニューと機能ボタンで操作することができます。

### ▶ メインメニューによる操作

液晶画面にメインメニューを表示し、次の操作を行うことができます。

表 メインメニューで操作できる内容

項目	概要
実行切替	実行中のプログラムを停止したり、停止したプログラムを再開したりできます。
時刻修正	本機の時刻を修正できます。
リレー動作表示	制御出力の状態 (ON/OFF) を確認できます。
リレー手動制御	制御出力を手動でON/OFFできます。
LCDバックライト	液晶のバックライトをON/OFFできます。
プログラム設定	現在実行中のプログラムを停止することなく、プログラム作成したり、変更したりできます。

- メモ** メインメニューには、上記以外に「時計補正入力」、「ユニット設定」、「ユニット点検」があります。
- ・「時計補正入力」は外部FMチューナーで本機の時計を補正する場合に設定します。「時計補正入力」の設定を変更すると、本機の時計を正しく補正できなくなる場合があります。設定の変更が必要な場合は販売店にご相談ください。
  - ・「ユニット設定」および「ユニット点検」は、プログラムを停止してもよい時間帯（営業終了後など）に操作してください（操作するためにはプログラムを停止する必要があります）。操作のしかたについては69ページ、91ページ以降をお読みください。

### ▶ 機能ボタンによる操作

機能ボタンで次の内容を操作することができます。機能ボタンを使用するためには、システム設定時、機能ボタンごとに使用する機能を割り当てておく必要があります。

表 機能ボタンで操作できる内容

項目	概要
個別リレー操作※1	機能ボタンに設定されている制御出力（1つ）の状態を反転（ON→OFF、OFF→ON）します。
複数リレー操作※1	機能ボタンに設定されている複数の制御出力を同時にONまたはOFFにします。
演奏機器の再生※2	機能ボタンに設定されている音楽またはメッセージを放送します。
プログラム差し換え	実行中のプログラムを機能ボタンに設定されているプログラム（D01～D16のいずれか）に差し換えます。

※1：複数リレー操作を行って、状態を変更した制御出力は解除するまでプログラムで制御できません。

※2：RS-232C端子に、演奏機器が接続されている必要があります。

- メモ** 複数リレー操作を解除するときは、操作した機能ボタンを再度押してください（プログラム差し換えは日が変わると解除されます）。

## キーロックのしかた

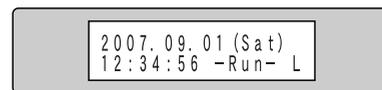
本機前面のボタンを操作できないようにロックすると、誤操作によるプログラムの変更または停止などを防止できます。

### ▶ キーをロックする

ロックするときは、**[戻る]** を押しながら選択ダイヤルを右に3クリック以上回してください。

ロックすると、液晶画面の右下に「L」が表示されます。

図 キーロック中



**メモ** キーロック中でも機能ボタンだけ操作できるように設定できます。詳しくは、(80ページ)をお読みください。

### ▶ キーロックを解除する

ロックを解除するときは、**[戻る]** を押しながら選択ダイヤルを左に3クリック以上回してください。

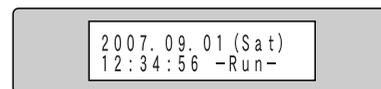
ロックが解除されると、液晶画面の右下の「L」が消えます。

# 液晶画面による操作

## メインメニューの表示と消去

- 1 メインメニューによる操作を開始するときは、**決定**を押す。
- 2 メインメニューによる操作を終了するときは、日時が表示されるまで**戻る**を押す。

図 日時表示



図メインメニュー



## メッセージに対する操作

操作を行うと、本機は液晶画面にメッセージを表示することがあります。メッセージには、確認を求める確認メッセージと、処理結果を示す結果メッセージがあります。

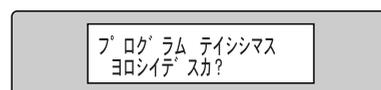
### ▶ 確認メッセージ

確認メッセージは、何か処理を行ったときに、実行してよいか問い合わせを行うためのメッセージです。確認メッセージの例を右に示します。確認メッセージが表示されたときは、以下のように操作します。

処理を続行するときは、**決定**を押します。

前画面に戻るときは、**戻る**を押します。

図 確認メッセージ例



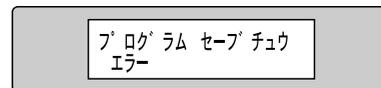
### ▶ 結果メッセージ

結果メッセージにはエラーメッセージと処理終了メッセージがあります。

#### ・エラーメッセージ

エラーメッセージは実行内容に誤りがあった場合に表示されます。エラーメッセージが表示されたときは、**決定**を押してください。処理終了メッセージが表示されます。

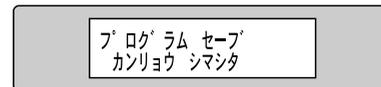
図 エラーメッセージ例



#### ・処理終了メッセージ

処理終了メッセージは処理の終了をお知らせします。なお、処理終了メッセージは自動的に画面が遷移します(遷移する画面は操作内容によって異なります)。

図 処理終了メッセージ例



## プログラムの実行・停止

自動的にプログラムを実行するオートスタート機能（81 ページ）が設定されている場合、通電時、プログラムに従って各機器が制御され、放送を開始します。

ここでは、手動でプログラムを実行または実行中のプログラムを停止する方法について説明します。

### プログラムを停止する場合

プログラム実行中、手動で停止（OFF）する場合は、次のように操作します。

- 1 **決定** を押し、液晶画面にメイン メニューを表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、「ジッコウ キリカエ」を表示する。
- 3 **決定** を押す。  
確認メッセージが表示されます。
  - ▶ プログラムを停止するときは**決定**を押します。  
プログラムを停止後（プログラム実行OFFメッセージを表示）、自動的にメイン メニューに戻ります。
  - ▶ プログラムの実行を継続するときは**戻る**を押します。  
プログラムを停止せずに、メイン メニューに戻ります。

図メイン メニュー



プログラム実行中



図 確認メッセージ

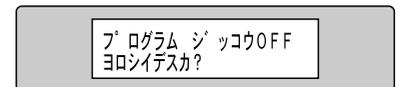
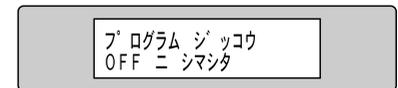


図 プログラム実行OFFメッセージ



### プログラムを実行する場合

プログラム停止中、手動で実行（ON）する場合は、次のように操作します。

- 1 **決定** を押し、液晶画面にメイン メニューを表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、「ジッコウ キリカエ」を表示する。
- 3 **決定** を押す。  
確認メッセージが表示されます。
  - ▶ プログラムを開始するときは**決定**を押します。  
プログラムを開始後（プログラム実行ONメッセージを表示）、自動的にメイン メニューに戻ります。  
実行されるプログラムは、現在日時（または曜日）に設定されているプログラムです。
  - ▶ プログラムの実行を取り消すときは**戻る**を押します。  
メイン メニューに戻ります。

図メイン メニュー



プログラム停止中



図 確認メッセージ

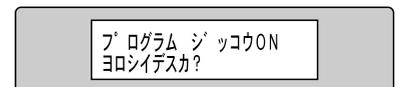
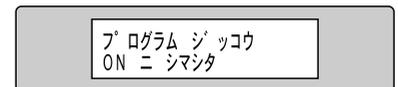


図 プログラムONメッセージ



- メモ**
- ・プログラムが作成されていない状態でも実行できます（プログラムがない場合、本機で放送を制御することはできません）。
  - ・プログラム実行中に、プログラムを作成または修正することができます。詳しくは37ページをお読みください。

## 時刻の修正

液晶画面に表示されている時刻が現在時刻と異なっている場合、時刻を修正する必要があります。時刻を修正する場合は次のように操作します。

- メモ**
- ・メインメニューの時刻修正画面で年月日は修正できません。年月日の修正は、ユニット設定メニュー（プログラムを停止する必要があります）で行います（70ページ）。
  - ・親時計または外部FMチューナーを使って時計補正を行っている場合、時刻は決められた時間に自動補正されます。ただし、現在時刻と±15秒以上異なる場合は以下の手順で時刻を修正する必要があります。

1 **決定** を押し、液晶画面にメインメニューを表示する。

図メインメニュー

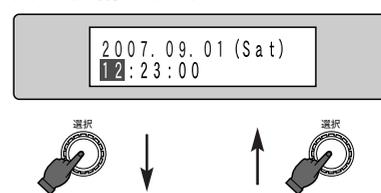


2 選択ダイヤルを回し、「ジコク シュウセイ」を表示する。

3 **決定** を押す。

時刻修正画面が表示されます。

図時刻修正画面



4 選択ダイヤルで時刻を修正する。

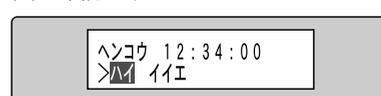
選択ダイヤルを回し、時（24時間制）、分を修正します。「時」を合わせた後、選択ダイヤルを押すと、「分」にカーソルが移動します。再度押すと「時」にカーソルが移動します。



5 **決定** を押す。

液晶画面に、確認メッセージが表示されます。

図確認メッセージ



6 選択ダイヤルを回し、「ハイ」または「アイエ」を選択する。その後、**決定** を押す。

▶ 時刻を修正する場合は、「ハイ」にカーソルを移動します。

NTTの時報サービスまたはNHKの時報に合わせて、**決定** を押してください。**決定** を押すと、時計が動き出します（秒は設定した「分」の0秒にリセットされます）。その後、日時表示に戻ります。

▶ 時刻の修正を中止するときは、「アイエ」にカーソルを移動し、**決定** を押します。時刻を変更せずに時刻修正画面に戻ります。

## 制御出力の動作状況の確認

制御出力の動作状況を確認するときは次のように操作します。接点制御出力に名前が設定されている場合、設定されている名前も確認できます。

1 **決定** を押し、液晶画面にメインメニューを表示する。

2 選択ダイヤルを回し、液晶画面に「リレー ドウサ ヒョウジ」を表示する。

3 **決定** を押す。

液晶画面に制御出力動作状況確認画面が表示されます。

4 次の番号の動作状況確認するときは、選択ダイヤルを右に回す。

接点制御出力R001～R008、R010～R099の動作状況を確認できます。

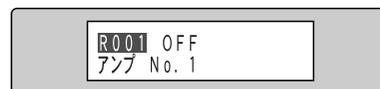
左に回すと、1つ前の番号のリレー動作状況表示に戻ります。

5 動作状況の確認を終了するときは**戻る** を押す。  
メインメニューに戻ります。

図 メインメニュー



図 制御出力動作状況確認画面



上段	: 制御出力番号と動作状況
下段	: 名前
ON	ON 状態 (制御中) です。 この制御出力に接続されている機器に対して、制御しています。
OFF	OFF 状態 (非制御中) です。

**メモ** 確認できる制御出力番号は、システム構成および操作状態によって異なります。

- ・ 接点制御出力番号はR001～R008、R010～R099 (最大：増設リレーユニットの台数によって異なる) の範囲で確認できます。
- ・ 増設リレーユニットのスイッチで切り換えた制御出力の動作状況は、上記操作で確認できません。

## 制御出力の手動制御

通常、制御出力のON/OFFはプログラムで自動制御されますが、必要に応じて手動でON/OFFを切り換えることもできます。

**メモ** 手動で制御出力のON/OFFを切り換えると、AUTOに戻すまでプログラムによる制御はできません。

制御出力の状態を手動で切り換えるときは、次のように操作します。

1 **決定** を押し、液晶画面にメインメニューを表示する。

2 選択ダイヤルを回し、液晶画面にリレー手動制御メニューを表示する。

3 **決定** を押す。  
手動制御画面が表示されます。

4 選択ダイヤルを回し、リレー番号を選択する。

**メモ** 手動で制御できる制御出力番号は、システム構成によって異なります。  
・接点制御出力番号はR001～R008、R010～R099（最大：増設リレーユニットの台数によって異なる）の範囲で制御できます。

5 **決定** を押す。  
制御切換画面が表示されます。

6 選択ダイヤルを回し、制御方法を選択する。

以下のいずれかを選択できます。

ON : 手動でONにします。

OFF : 手動でOFFにします。

AUTO : プログラムによる自動制御にします。

7 **決定** または **戻る** を押す。

▶ 選択した内容に、設定内容を変更するときは**決定** を押します。制御出力の制御が行われ、手動制御画面に戻ります。

▶ 変更しないときは**戻る** を押します。手動制御画面に戻ります。再度**戻る** を押すとメインメニューに戻ります。

図 メインメニュー

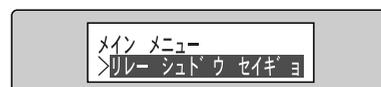


図 手動制御画面

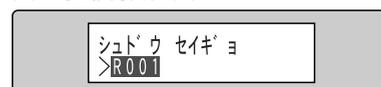
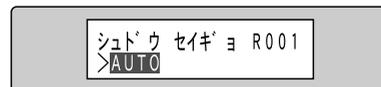


図 制御切換画面



制御出力の制御が行われ、手動制御画面に戻ります。

## 液晶 (LCD) バックライトの点灯／消灯

液晶のバックライトはメインメニューの操作でON／OFFを切り換えることができます。周囲の明るさに合わせて切り換えて使用できます。

- 1 **決定** を押し、液晶画面にメインメニューを表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、液晶画面に「LCD バックライト」を表示する。
- 3 **決定** を押す。  
液晶画面にLCDバックライト設定画面が表示されます。
- 4 選択ダイヤルを回し、設定内容を選択する。  
LCDバックライトを設定する場合、以下の内容を選択できます。お買い上げ時は「AUTO」に設定されています。  
ON : 通電時、液晶のバックライトを常時点灯します。  
OFF : 通電の有無にかかわらず、液晶のバックライトを常時消灯します。  
AUTO : 通電時、本機前面のボタンまたは選択ダイヤルを操作したときにだけ、液晶のバックライトを点灯します。バックライトは、操作後、約1分経過すると自動的に消灯します。

図 メインメニュー



図 LCDバックライト設定画面



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ ホゾンシマシタ」を表示後、メインメニューに戻る。

- 5 **決定** または **戻る** を押す。
  - ▶ 選択した内容に、設定内容を変更するときは**決定**を押します。液晶画面に、「セッテイヲ ホゾンシマシタ」とメッセージが表示されます。メッセージは自動的に消え、メインメニューに戻ります。
  - ▶ 変更しないときは**戻る**を押します。メインメニューに戻ります。

## プログラムの修正

当日、業務上の都合によってプログラムを一部変更する必要がある場合、プログラムを修正します。プログラムには、週間プログラム、特定日用プログラム、キョウ（今日）があります（詳細は37ページをお読みください）。修正したプログラムを当日のみ使用する場合は「キョウ」プログラムを修正します。

- メモ**
- ・「キョウ」プログラムの修正内容は当日のみ有効です。修正内容を毎週反映したい場合は、週間プログラム（Sun～Sat）を修正してください（40ページ）。
  - ・修正を始める前に、プログラムを確認し、機器を制御するための制御出力番号およびステップ番号（開始時刻、終了時刻）を確認してください。
  - ・機能ボタンでプログラム差し換えを行うと、当日（「キョウ」プログラム）の修正は無効となります。

### 制御出力のプログラムの修正

- 1 **決定** を押し、メインメニューを表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、液晶画面に「プログラムセッテイ」を表示する。
- 3 **決定** を押す。  
プログラム設定メニューが表示されます。
- 4 **決定** を押す。  
プログラム選択画面（キョウ）が表示されます。
- 5 再度、**決定** を押す。  
制御出力番号選択画面が表示されます。
- 6 選択ダイヤルを回し、制御出力番号を選択する。  
制御したい機器が接続されている制御出力番号を選択します。
- 7 **決定** を押す。  
ステップ設定画面が表示されます。
- 8 選択ダイヤルを回しステップ番号を選択する。  
修正したいステップ番号を選択します。  
新しいステップを追加するときは**挿入**を押します。表示されているステップの前に空白のステップを1つ追加します。  
表示されているステップを削除したいときは、**削除**を押します。  
表示されているステップを複製したいときは、**コピー**を押します。その後、複製先のステップを表示し、**貼付**を押します。表示されているステップに上書きします。

図 メインメニュー



図 プログラム設定メニュー

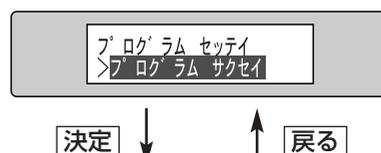
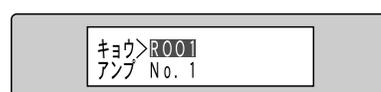


図 プログラム選択画面



図 制御出力番号選択画面

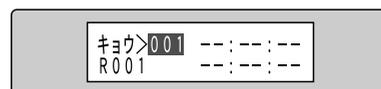


上段：接点制御出力番号

下段：制御出力名称



図 ステップ設定画面



上段：ステップ番号 ON開始時刻

下段：制御出力番号 ON終了時刻

9 **決定** を押す。  
開始時刻（時）にカーソルが移動します。

10 **開始時刻と終了時刻を設定する。**  
選択ダイヤルを回し、時刻を選択します。  
選択ダイヤルを押すと、開始時刻の時→分→秒→終了時刻の時→分→秒の順にカーソルが移動します。  
開始時刻から終了時刻までの間、制御出力がONになります。

**戻る** を押すと、ステップ番号にカーソルが戻ります。

11 **決定** を押す。  
登録確認メッセージが表示されます。

12 **選択ダイヤルで「ハイ」または「イイエ」を選択し、決定** を押す。

- ▶ 「ハイ」 : 設定内容を登録し、ステップ設定画面に戻ります。
- ▶ 「イイエ」 : 設定内容を登録せず、ステップ設定画面に戻ります。
- ▶ **戻る** を押すと、開始時刻、終了時刻の設定に戻ります。

13 **他の制御出力の設定を変更するとき、制御出力番号選択画面が表示されるまで戻る** を押す。  
プログラムの修正を終了するとき、日時が表示されるまで **戻る** を押す。

図 ステップ設定画面

**決定** ↓ ↑ **戻る**

**決定** ↓

図 登録確認メッセージ

## 演奏機器の再生プログラムの修正

**メモ** RS-232C端子に、演奏機器が接続されている場合にのみ操作できます。なお、RS-232C端子に接続できる演奏機器は1台だけです。

1 28ページ手順1～5の操作を行い、制御出力番号選択画面を表示する。

2 選択ダイヤルを左に回し、「エンソウ」を表示する。

3 **決定**を押す。  
ステップ設定画面が表示されます。

4 選択ダイヤルを回しステップ番号を選択する。  
修正したいステップ番号を選択します。  
新しいステップを追加するときは**挿入**を押します。表示されているステップの前に空白のステップを1つ追加します。表示されているステップを削除したいときは、**削除**を押します。  
表示されているステップを複製したいときは、**コピー**を押します。その後、複製先のステップを表示し、**貼付**を押します。表示されているステップに上書きします。

5 **決定**を押す。  
開始時刻（時）にカーソルが移動します。

6 選択ダイヤルを回し、演奏開始時刻、ディスク番号、チャンネル番号、曲番号を設定する。  
選択ダイヤルを回し、時刻を選択します。選択ダイヤルを押すと、開始時刻の時→分→秒→ディスク番号→チャンネル番号→曲番号の順にカーソルが移動します。

図 制御出力番号選択画面

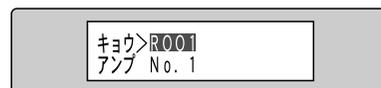
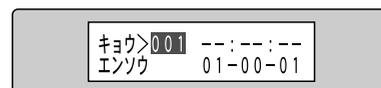


図 ステップ設定画面



上段：ステップ番号 開始時刻

下段：再生する曲番号

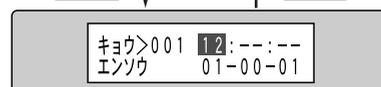
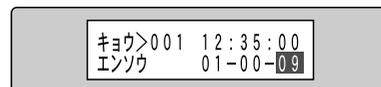


図 ステップ設定画面



**メモ** ・演奏機器の再生の場合、指定した時刻に演奏が開始され、曲の再生が終了すると自動的に停止します。  
・ディスク番号、チャンネル番号の指定範囲は機器によって異なります（次ページ参照）。

7 **決定**を押す。  
登録確認メッセージが表示されます。

図 登録確認メッセージ



8 選択ダイアルで「ハイ」または「イイエ」を選択し、**決定**を押す。

- ▶ 「ハイ」 : 設定内容を登録し、ステップ設定画面に戻ります。
- ▶ 「イイエ」 : 設定内容を登録せずに、ステップ設定画面に戻ります。
- ▶ **戻る**を押すと、開始時刻の設定に戻ります。

9 他の制御出力の設定を変更するときは、制御出力番号選択画面が表示されるまで**戻る**を押す。プログラムの修正を終了するときは、日時が表示されるまで**戻る**を押す。

表 メッセージ/曲の指定方法

演奏機器	ディスク番号	チャンネル番号	曲番号
デジタルIC プレーヤー	01,02,05*	00	01~99
デジタルIC レコーダー	01,02,05*	00	01~99
CDミュージックプレーヤー (1枚タイプ)	01	00~08	01~99
CDミュージックプレーヤー (5枚タイプ)	01~05	00~08	01~99

※ : ディスク番号については、デジタルICプレーヤー、デジタルICレコーダーの取扱説明書をお読みください。

# 機能ボタンによる操作

機能ボタン (F1～F5) で操作する場合、システム設定メニューであらかじめ機能ボタンに機能を割り当てておく必要があります (73 ページ)。操作を始める前に、機能ボタンに割り当てられている機能を確認してください。

## 基本操作

操作したい機能が割り当てられている機能ボタンを押すと、割り当てられている機能が実行されます。

機能ボタンで操作中、液晶画面の表示は、日時表示→実行中の機能ボタン (番号と名前) が交互に表示されます (個別リレー操作および演奏機器の再生は除く)。

終了するときには、機能を実行するために押した機能ボタンを再度押します。

## 個別リレー操作

機能ボタンに設定されている制御出力 (1 つ) の状態を強制的に反転 (ON のとき OFF、OFF のとき ON) します。

### プログラムとの関係

プログラム優先です。個別リレー操作中、強制的に反転した制御出力に対してプログラム制御が発生した場合は、プログラムに従って動作します。

- 1 個別リレー操作機能が割り当てられている機能ボタン (例 F1) を押す。  
機能ボタンに設定されている制御出力の状態が反転します。

表示について 個別リレー操作中、液晶画面に実行中の機能ボタンは表示されません。

- 2 個別リレー操作機能を解除するときには、再度機能ボタン (F1) を押す。

## 複数リレー操作

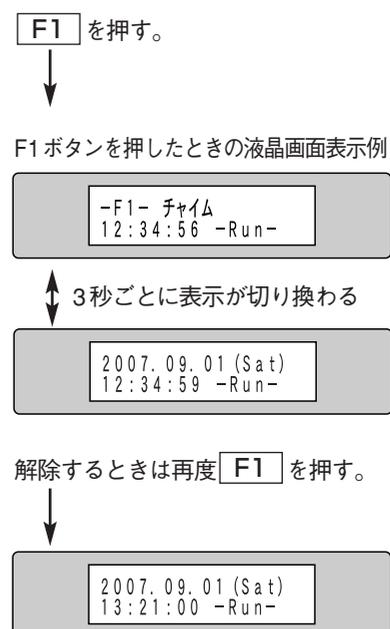
機能ボタンに設定されている複数の制御出力の状態を同時に制御します。

### プログラムとの関係

複数リレー操作優先です。複数リレー操作中、制御されている制御出力に対してプログラムから制御することはできません (複数リレー制御の対象となっている制御出力に対するプログラムは無視されます)。

- 1 複数リレー操作機能が割り当てられている機能ボタン (例 F2) を押す。  
複数の制御出力が、複数リレー操作機能の設定に従って ON または OFF されます。
- 2 複数リレー操作機能を解除するときには、再度機能ボタン (F2) を押す。

図 操作例



メモ 複数リレー操作機能が複数の機能ボタンに割り当てられている場合

後に押した機能ボタンに割り当てられている複数リレー操作が優先されます。

例えば、F2 と F5 に複数リレー操作機能が割り当てられている場合、F2 を押してから F5 を押すと、F5 に割り当てられている複数リレー操作で動作します (F2 の複数リレー操作は解除されます)。

## 演奏機器の再生

機能ボタンに設定されている番号の音楽またはメッセージを再生します。

**メモ** この機能は、本機のRS-232C端子に、演奏機器が接続されている場合にのみ使用できます。RS-232C端子に接続できる演奏機器は1台だけです。

**プログラムとの関係** プログラム優先です。演奏機器再生中、演奏機器に対するプログラム制御が発生した場合、再生を中断し、プログラムに従って再生します。

- 1 プレーヤー演奏機能が割り当てられている機能ボタン (例F3) を押す。**  
機能ボタンに割り当てられている曲またはメッセージが放送されます。再度押すと、曲またはメッセージを最初から再生します。

**再生を停止するには** 本機で、放送中の音楽またはメッセージを中断することはできません。再生を中断する場合は演奏機器で停止操作を行ってください。詳細は、演奏機器の取扱説明書をお読みください。

**表示について** 演奏機器の再生中、液晶画面に実行中の機能ボタンは表示されません。

## 機能ボタンによるプログラムの差し換え

実行中のプログラムを機能ボタンに設定されている、特定日用のプログラム (D01～D16のいずれか) に差し換えます。

- 1 プログラム差換機能が割り当てられている機能ボタン (例F4) を押す。**  
現在実行中のプログラムが、機能ボタンに割り当てられているプログラムに切り換わります。その後、自動的に実行されます。

**メモ** ・切り換えたプログラムが動作するまで、約2秒かかります。  
・切り換えたプログラムは日が変わると解除されます。

- 2 プログラムの差し換えを解除するときは、再度機能ボタン (F4) を押す。**  
運用日に割り当てられているプログラム (週間プログラムまたは年間スケジュール) に戻ります。  
「キョウ」プログラム変更後、プログラムの差し換えを行うと「キョウ」プログラムの変更内容は破棄されます。

**メモ** **プログラム差換機能が複数の機能ボタンに割り当てられている場合**  
例えば、F4ボタンとF5ボタンにプログラム差換機能が割り当てられており、F4ボタンを押した後に、F5ボタンを押すと、F5ボタンに割り当てられているプログラムに従って動作します。再度F5ボタンを押すとF5ボタンに割り当てられているプログラムが解除され、運用日に割り当てられているプログラム (週間プログラムまたは年間スケジュール) で動作します。

## 制御出力制御の優先順位について

本機による制御出力の制御方法の優先順位は下表のようになります。

表 プログラムの制御方法と優先順位（プログラムによる制御を基準とした場合）

優先順位	制御方法
高い	リレー手動制御（メインメニュー）
↑	複数リレー制御（機能ボタン）
↓	プログラムによる制御、機能ボタンのプログラム差換機能または機能ボタンの個別リレー制御*
低い	

※：後に操作した内容（またはプログラム）が優先されます。

表「機能割り当て例」に示すように機能ボタンが設定されている場合で、各機能を同時に実行すると表「機能を組み合わせて使用した場合の動作例」のように動作します。

表「機能を組み合わせて使用した場合」は、R008がON状態で各機能を実行した場合の動作例です。

表 機能割り当て例

機能ボタン	機能	設定概要（例）
F1	個別リレー操作	接点制御出力R008が設定されています。
F2	複数リレー操作	接点制御出力R001～R004をON、R005～R008をOFFにするよう設定されています。
F3	プログラム差し換え	特定日用のプログラム（D01）が設定されています。

表 機能を組み合わせて使用した場合の動作例

操作前	操作1	操作1実行後の状態	操作2	操作2実行後の状態
R008 ON	F1	OFF	F2	OFF（F2の設定）
	F1	OFF	F3	D01に従って動作
	F1	OFF	リレー手動制御	リレー手動制御に従って動作
	F2	OFF	F1	OFF（F1の設定は無視）
	F2	OFF	F3	OFF（F2の設定に従う）
	F2	OFF	リレー手動制御	リレー手動制御に従って動作
	F3	D01に従って動作	F1	D01の状態を反転
	F3	D01に従って動作	F2	OFF
	F3	D01に従って動作	リレー手動制御	リレー手動制御に従って動作
リレー手動制御	操作内容に従って動作	F1	リレー手動制御の状態を維持	
リレー手動制御	操作内容に従って動作	F2	リレー手動制御の状態を維持	
リレー手動制御	操作内容に従って動作	F3	リレー手動制御の状態を維持	

# 故障と思われましたら

ご使用中に故障かなと思われる症状が生じたときは、下表の内容を確認してください。また、各種のエラー表示に従って確認してください。それでも直らないときは電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へご連絡ください。

症状	確認項目	処置	ページ
電源が入らない	電源コードが抜けていませんか？	電源コードを接続します。	—
ボタンを押しても反応がない	液晶画面右下に「L」が表示されていませんか？	キーロックを解除します。	21ページ
外部FMチューナーによる時計補正ができない	NHK-FM放送は受信されていますか？	音声をモニターします。	64ページ
	補正範囲を超えていませんか？	手動で正しい時刻を設定します。	89ページ
	しきい値が高すぎませんか？	しきい値を調整します。	89ページ
プログラムが実行できない	プログラムは登録されていますか？	プログラムを見直してください。	37ページ
	ユニット設定を実行しませんでしたか？	プログラムを実行してください。	23ページ
	プログラムは実行されていますか？	プログラムを実行してください。	23ページ
	エラー表示が出ていませんか？	プログラムを見直してください。	37ページ
画面上に一定間隔でメッセージが表示される	本機に異常が発生している恐れがあります	販売店にご相談ください。	—
	直前に機能ボタンを押しましたか？	異常ではありません。	—
画面表示が見にくい	バックライトが消灯していませんか？	バックライトの設定を点灯 (ON) にします。	27ページ
電源を切った後、時計が狂ってしまう	通電時、内蔵電池の電圧異常のメッセージが表示されませんでしたか？	販売店に内蔵電池の交換を依頼してください。	—



# プログラムの作成

プログラムで、制御出力のON/OFF、または演奏機器で曲を演奏する時間を設定します。曜日、時、分、秒単位で制御出力をON/OFFできます。

## 作成できるプログラムの種類

本機は、表「プログラムの種類」に示すプログラムを作成できます。各プログラムの優先順位は、表「プログラムの優先順位」のとおりです。各プログラムの関係は下図をご覧ください。

表 プログラムの種類

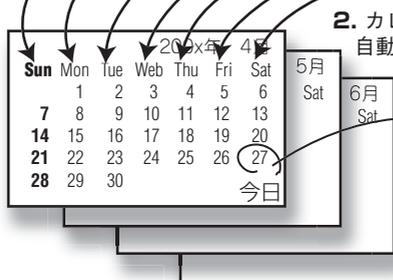
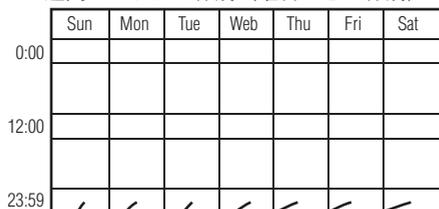
種類	概要
週間プログラム	曜日ごとのプログラムを作成します。 週間プログラムがすべての動作の基本となります。
特定日用プログラム	16種類作成できます。このプログラムは、プログラム切替用として使用する場 合や祝祭日、バーゲンセールなど店舗の特別な日（特定日）のプログラムとして 使用します。 プログラム切替用として使用する場合、機能ボタンのプログラム差換機能に特定 日用プログラムを割り当てる必要があります。詳しくは、73ページをお読みく ださい。 祝祭日、バーゲンセールなどのプログラムとして使用する場合、年間スケジュ ールで実行する月日を割り当てる必要があります。
年間スケジュール	月日に、実行する特定日用プログラムを割り当てます。指定した月日に、割り当 てた特定日用プログラムで動作します。年間スケジュールは、毎年繰り返し実行 されます。
今日（キョウ）	業務上の都合で、一時的に実行中のプログラムの内容を変更するときを使用しま す。あらかじめ作成する必要はありません。

表 プログラムの優先順位

優先順位	プログラム
高い	「今日」または機能ボタンで切り換えられたプログラム（特定日用プログラム）※
↓	年間スケジュール（特定日用プログラム）
低い	週間プログラム

※：後に設定したプログラムが優先されます。

### 1. 週間プログラム作成（曜日ごとに作成）



### 3. 年間スケジュール（特定日用プログラム）の作成

特定のイベント用に、特定日用プログラムD01～D16を作成し、月日を割り当てる。  
例：社員研修 D01 (5/5～5/6)  
春物セールD02 (4/27～5/5)  
棚卸し D03 (毎月15日)  
夏物セールD04 (7/1～7/7)

イベントごとに特定日を作成し、年間スケジュールで月日を指定する。

### 2. カレンダーの曜日に自動割り付け

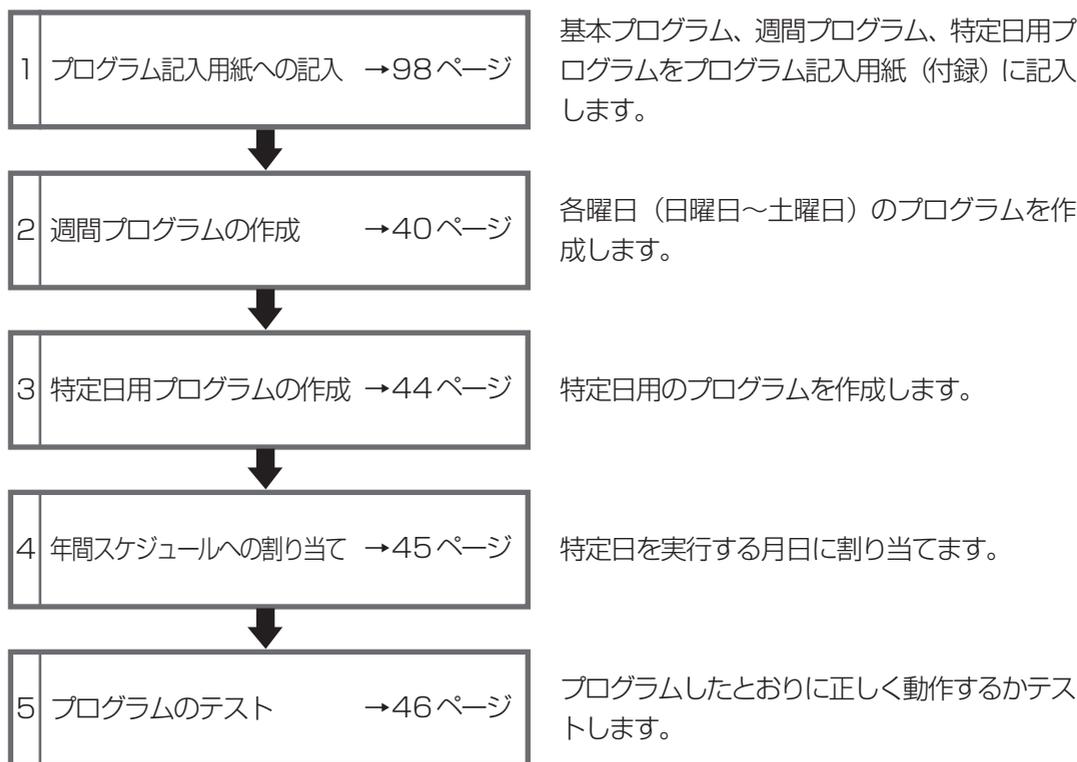
### 4. プログラムを実行します。（23ページ）

① 日替わり時にSatプログラムが「キョウ」に展開される。  
② この例では、4/27に特定日D02が割り当てられているため、D02が「キョウ」に展開される。したがって「キョウ」の内容はD02プログラムとなる。

実行中のプログラムを変更するには？  
「キョウ」プログラムで変更する。  
週間プログラムが動作しているときは該当する曜日のプログラムを、特定日が割り当てられているときは該当する特定日用プログラムを修正して変更することも可能

# プログラム作成作業の流れ

プログラムの作成は以下の手順で行います。あらかじめ、ユニット設定メニューで制御出力の用途が分かるように名前を設定することをおすすめします。



## 作成手順の概要

プログラムは、メインメニューの「プログラム作成」で作成します。本機でプログラムを作成する場合は、制御出力ごとに、ONにする時間を設定して作成します（設定されていない時間はOFFになります）。

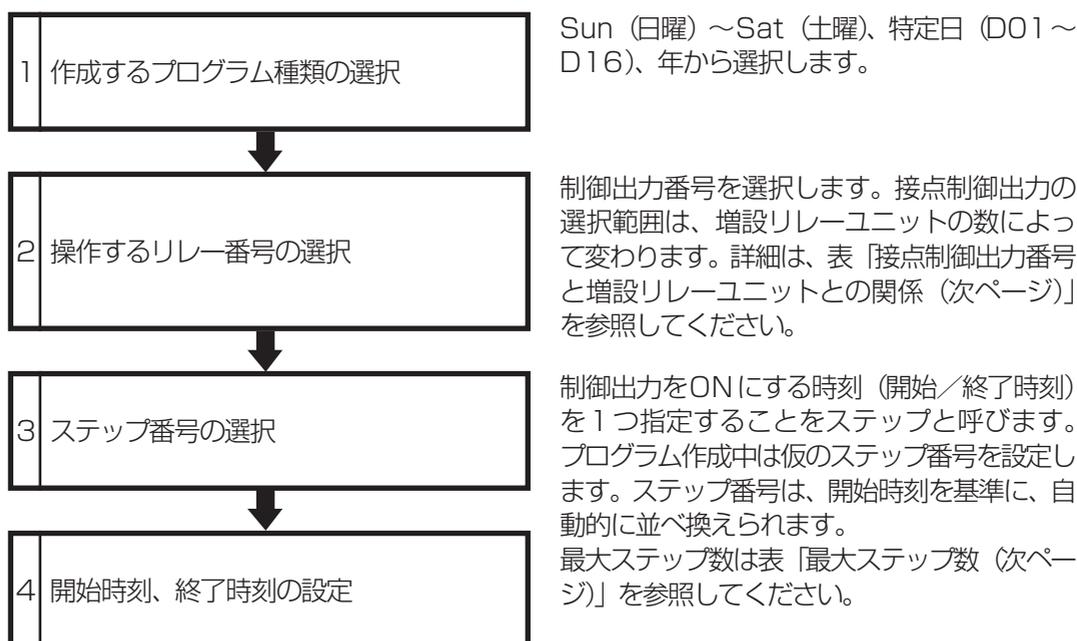


表 接点制御出力番号と増設リレーユニットとの関係

機器	ユニットアドレス※	設定できる番号	増設リレーユニットの台数
本機のみ	—	R001～R008	—
増設リレーユニット1	1	R010～R019	1台増設
増設リレーユニット2	2	R020～R029	2台増設
増設リレーユニット3	3	R030～R039	3台増設
増設リレーユニット4	4	R040～R049	4台増設
増設リレーユニット5	5	R050～R059	5台増設
増設リレーユニット6	6	R060～R069	6台増設
増設リレーユニット7	7	R070～R079	7台増設
増設リレーユニット8	8	R080～R089	8台増設
増設リレーユニット9	9	R090～R099	9台増設

※：増設リレーユニットのユニットアドレスの設定方法は、増設リレーユニットの取扱説明書をお読みください。

表 最大ステップ数

プログラム種別	最大ステップ数	備考
週間プログラム	999ステップ/曜日	1週間分設定可能
特定日用プログラム	999ステップ/日	16日分設定可能
「キョウ」プログラム	999ステップ	実行日のみ有効

## プログラム作成時の注意

プログラム作成時は、次の内容に注意してください。

- ・日をまたがるプログラムは作成できません。

日付変更時刻が00：00：00に設定されている場合、00:00:00から翌日の00:00:00までのプログラムを作成できます。

例：23:00:00～00:00:00は指定できますが、23:00:00～00:00:01を指定するとエラーになります。日をまたがる場合は23:00:00～00:00:00のステップと翌日00:00:00～00:00:01のステップを分けてください。

- ・終了時刻を開始時刻より前の時間に指定することはできません。

エラーメッセージが表示されます。終了時刻には開始時刻より後の時間を指定してください。

- ・プログラムの作成を始める前に、ユニット設定を確認してください。

プログラムとユニット設定が異なると正しく動作しません。また、プログラム作成時、ユニット設定と異なる設定を受け付けない場合がありますので注意してください。

- ・当日のプログラムを変更するときは「キョウ」プログラムを使用してください。

本機は当日のプログラムを変更できます。当日のプログラムを変更する場合は、「キョウ」プログラムを使用してください。

# 週間プログラムを作成する

## 制御出力に対するプログラム

- 1 **決定** を押し、メインメニューを表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、「プログラム セッテイ」を表示する。
- 3 **決定** を押し。  
プログラム設定メニュー（プログラム サクセイ）が表示されます。
- 4 **決定** を押し。  
プログラム選択画面（キョウ）が表示されます。
- 5 選択ダイヤルを回し、Sun（日）～Sat（土）のいずれかを選択する。
- 6 **決定** を押し。  
制御出力番号選択画面が表示されます。
- 7 選択ダイヤルを回し、制御出力番号を選択する。
- 8 **決定** を押し。  
ステップ設定画面が表示されます。  
作成するプログラムの種類を変更するときは**戻る**を押します。
- 9 選択ダイヤルを回し、ステップ番号を選択する。  
設定したいステップ番号を選択します。  
表示されているステップの前に空白のステップを1つ追加するときは、**挿入**を押します。  
表示されているステップを削除したいときは、**削除**を押します。  
表示されているステップを複製したいときは、**コピー**を押します。その後、複製先のステップを表示し、**貼付**を押します。表示されているステップに上書きします。
- 10 **決定** を押し。  
開始時刻（時）にカーソルが移動します。

図 メインメニュー



図 プログラム設定メニュー

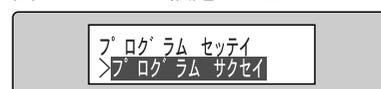
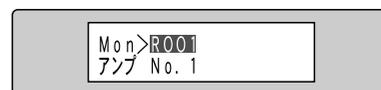


図 プログラム選択画面



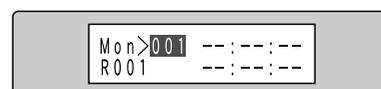
図 制御出力番号選択画面



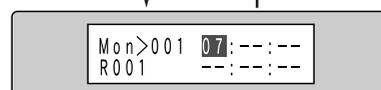
上段：制御出力番号  
下段：制御出力名称



図 ステップ設定画面



上段：ステップ番号 開始時刻  
下段：制御出力番号 終了時刻

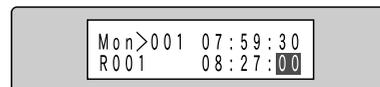


## 11 開始時刻と終了時刻を設定する。

選択ダイヤルを回し、時刻を選択します。  
 選択ダイヤルを押すと、開始時刻の時→分→秒→終了時刻の時→分→秒の順にカーソルが移動します。  
 開始時刻から終了時刻までの間、制御出力がONになります。

**戻る**を押すと、ステップ番号にカーソルが戻ります。

図 ステップ設定画面



**決定**

図 確認メッセージ



**メモ** 開始時刻のーは00ではありません。必ず時、分、秒を設定してください。

## 12 **決定**を押す。

確認メッセージが表示されます。

## 13 選択ダイヤルで「ハイ」または「イイエ」を選択し、**決定**を押す。

- ▶ 「ハイ」 : 設定内容を登録し、ステップ設定画面に戻ります。
- ▶ 「イイエ」 : 設定内容を登録せず、ステップ設定画面に戻ります。
- ▶ **戻る**を押すと、開始時刻、終了時刻の設定に戻ります。

## 14 他の制御出力を設定するとき、制御出力番号選択画面が表示されるまで

**戻る**を押す。

プログラムの修正を終了するとき、日時が表示されるまで**戻る**を押す。

### プログラムの修正・追加した場合

プログラム選択画面に戻るとき、液晶画面にメッセージ「プログラムセンタクニ モドリマス」が表示されます。メッセージは自動的に消え、プログラム選択画面が表示されます。

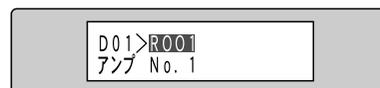
週間プログラムが「キョウ」プログラムに展開されているときに、実行中の曜日のプログラムを変更すると・・・？

実行中の曜日のプログラムを変更（例えば、月曜日にMonプログラムを変更）すると、制御出力番号選択画面からプログラム選択画面に戻るとき、確認メッセージ（右図）が表示されます\*。  
 選択ダイヤルで「ハイ」または「イイエ」を選択し、**決定**を押すと自動的にプログラム選択画面に戻ります。

\*：月曜日に他の曜日のプログラムを変更した場合、確認メッセージは表示されません。変更内容は該当曜日から実行されます。

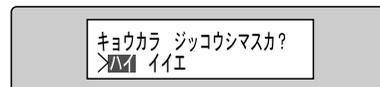
- ▶ 「ハイ」 : 「キョウ」プログラムの内容が「Mon」プログラムの内容に置き換わり、運用が再開されます。
- ▶ 「イイエ」 : 「Mon」プログラムで編集した内容は、翌週の同じ曜日（月曜日）から実行されます。

図 制御出力番号選択画面

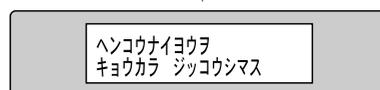


**戻る**

図 確認メッセージ



「ハイ」を選択



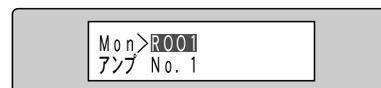
## 演奏機器に対するプログラム

ここでは、演奏機器に対するプログラムの作成方法について説明します。

**メモ** RS-232C 端子に、演奏機器が接続されている場合の設定です。なお、RS-232C 端子に接続できる機器は1台だけです。  
このメニューを表示できないときは、設定スイッチの設定、機器構成を確認してください（67ページ）。

**1** 40ページ手順1～6の操作を行い、制御出力番号選択画面を表示する。

図 制御出力番号選択画面



**2** 選択ダイヤルを左に回し、「エンソウ」を表示する。



**3** **決定** を押す。

ステップ設定画面が表示されます。



決定

戻る

**4** 選択ダイヤルを回しステップ番号を選択する。

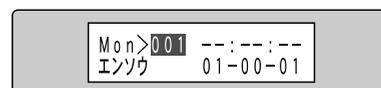
作成したいステップ番号を選択します。

表示されているステップの前に空白のステップを1つ追加するときは、**挿入** を押します。

表示されているステップを削除したいときは、**削除** を押します。

表示されているステップを複製したいときは、**コピー** を押します。その後、複製先のステップを表示し、**貼付** を押します。表示されているステップに上書きします。

図 ステップ設定画面



上段：ステップ番号 開始時刻

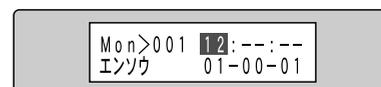
下段：再生する曲番号

決定

戻る

**5** **決定** を押す。

開始時刻（時）にカーソルが移動します。

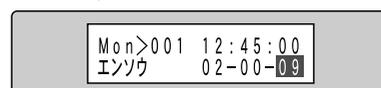


選択

**6** 選択ダイヤルを回し、演奏開始時刻、ディスク番号、チャンネル番号、曲番号を設定する。

選択ダイヤルを回し、時刻を選択します。選択ダイヤルを押すと、開始時刻の時→分→秒→ディスク番号→チャンネル番号→曲番号の順にカーソルが移動します。

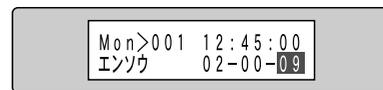
ディスク番号、チャンネル番号、曲番号の指定方法は、次ページの表をご覧ください。



**メモ** ・演奏機器の再生の場合、指定した時刻に演奏が開始され、曲の再生が終了すると自動的に停止します。  
・ディスク番号、チャンネル番号の指定方法は機器によって異なります（次ページの表を参照）。

7 **決定**を押す。  
確認メッセージが表示されます。

図 ステップ設定画面



8 選択ダイヤルで「ハイ」または「イイエ」を選択し、**決定**を押す。

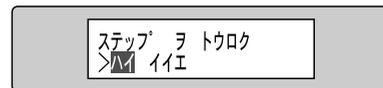
▶ 「ハイ」：設定内容を登録し、ステップ設定画面に戻ります。

▶ 「イイエ」：設定内容を登録せず、ステップ設定画面に戻ります。

▶ **戻る**を押すと、開始時刻の設定に戻ります。



図 確認メッセージ



9 他の制御出力を設定するときは、制御出力番号選択画面が表示されるまで**戻る**を押す。  
プログラムの修正を終了するときは、日時が表示されるまで**戻る**を押す。

プログラムの修正・  
追加した場合

プログラム選択画面に戻るとき、液晶画面にメッセージ「プログラムセンタクニ モドリマス」が表示されます。メッセージは自動的に消え、プログラム選択画面が表示されます。

表 指定方法

演奏機器	ディスク番号	チャンネル番号	曲番号
デジタルIC プレーヤー	01,02,05※	00	01～99
デジタルIC レコーダー	01,02,05※	00	01～99
CDミュージックプレーヤー (1枚タイプ)	01	00～08	01～99
CDミュージックプレーヤー (5枚タイプ)	01～05	00～08	01～99

※：ディスク番号については、デジタルICプレーヤー、デジタルICレコーダーの取扱説明書をお読みください。

# 特定日用のプログラムを作成する

ここでは、特定日用のプログラム（D01～D16）の作成方法について説明します。

特定日用のプログラムは、次のような場合に作成する必要があります。

- ・年間スケジュールを作成するとき（週間プログラムと祝祭日用のプログラムとを使い分けたいとき）。
- ・週間プログラムとバーゲンセールなどの特別なイベントのプログラムとを使い分けたいとき。
- ・機能ボタンのプログラム差換機能を使用するとき。

特定日用のプログラムは週間プログラムと同じ手順で作成することができます。ここでは、操作の異なる点について説明します。

## 制御出力に対するプログラム

- 1 40 ページ手順 1～4 の操作を行い、プログラム選択画面を表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、D01～D16 のいずれかを選択する。
- 3 **決定** を押す。  
制御出力番号選択画面が表示されます。
- 4 以降の操作は、週間プログラムの作成と同じです。  
40～41 ページ手順 7～14 の操作を行ってプログラムしてください。

図 プログラム選択画面

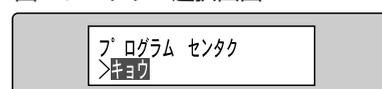
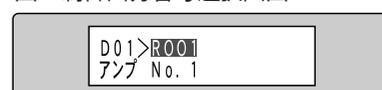


図 制御出力番号選択画面



## 演奏機器に対するプログラム

- 1 上記手順 1～3 の操作を行い、制御出力番号選択画面を表示する。
- 2 選択ダイヤルを左に回し、「エンソウ」を表示する。
- 3 以降の操作は、週間プログラムの作成と同じです。  
42～43 ページ手順 3～9 の操作を行ってプログラムしてください。

図 制御出力番号選択画面

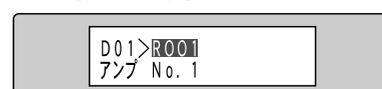


図 演奏設定画面



運用当日に割り当てられている特定日を編集すると

運用当日のスケジュールとして特定日が割り当てられているときに、その特定日のプログラムを編集すると、制御出力番号選択画面からプログラム選択画面に戻るとき確認メッセージが表示されます。確認メッセージについては41 ページをお読みください。

# 年間スケジュールの作成

特定日用のプログラムに、実行する月日を割り当てて年間スケジュールを作成します。その他の日には週間プログラムの設定が適用されます。

**重要** 年間スケジュールは毎年繰り返し実行します。  
翌年の同日に特定日を実行したくない場合は必ず削除してください。

**メモ** 実行する月日に特定日用のプログラムを割り当ててから、該当するプログラムを作成することもできます。  
作成方法は前ページをお読みください。

1 40ページ手順1～4の操作を行い、プログラム選択画面を表示する。

2 **切換**を押す。  
年間スケジュール設定画面が表示されます。

3 選択ダイヤルを回し、割り当てる「月」を設定する。  
選択ダイヤルを押すと「日」にカーソルが移動します。選択ダイヤルを回し、「日」を設定してください。

**メモ** 過去の日付を設定すると翌年の月、日の指定となります。例えば、2007年10月20日に設定作業を行っている場合、10月1日を設定すると、2008年10月1日となります。

4 **決定**を押す。  
特定日設定画面が表示されます。  
既に、選択した月・日に特定日用のプログラムが設定されている場合、液晶画面下段右側に設定されているプログラムの番号(D01～D16)が表示されます。

5 選択ダイヤルを回し、特定日(D01～D16)または曜日\*を選択する。  
選択した月、日に割り当てる特定日用のプログラムを選択します。  
特定日の割り当てを解除するときは曜日\*を選択します。

\*: 選択した月日に該当する曜日が選択できます。例えば、2007年10月20日の場合、D01～D16とSatが選択できます。

6 **決定**を押す。  
確認メッセージが表示されます。

7 選択ダイヤルで「ハイ」または「イイエ」を選択し、**決定**を押す。

▶ 「ハイ」 : 設定内容を登録し、年間スケジュール設定画面に戻ります。

▶ 「イイエ」 : 設定内容を登録せず、特定日設定画面に戻ります。

▶ **戻る**を押すと、特定日設定画面に戻ります。

図 プログラム選択画面

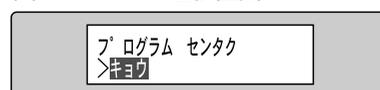


図 年間スケジュール設定画面

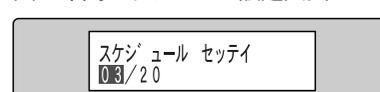


図 特定日設定画面



図 確認メッセージ



# プログラムのテスト

作成したプログラムが指定したとおりに動作するかどうかをテストします。プログラムのテストは、運用を開始する前に必ず行ってください。

ここでは、作成したプログラムをテストする方法について説明します。

- メモ**
- ・ 任意の時刻にプログラムを進行させ、テストできます（テスト専用の時計で実行されます）。
  - ・ 日が変わると自動的にテストは終了します。
  - ・ 日を指定したテスト（年間スケジュールのテスト）はできません。年間スケジュールに割り当てた特定日用のプログラムを指定してテストしてください。
  - ・ プログラム実行中にテストすると、テスト開始時、実行中のプログラムは自動的に停止します。

1 40 ページ手順 1～3 の操作を行い、プログラム設定メニューを表示する。

図 プログラム設定メニュー



2 選択ダイヤルを回し、「プログラムテスト」を表示する。

図 プログラムテスト画面



3 選択ダイヤルを回し、テストするプログラムを選択する。

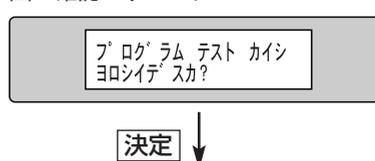
今日（キョウ）、日（Sun）～土（Sat）、特定日（D01～D16）のいずれかを選択してください。

4 選択ダイヤルを押し、時刻をテスト開始時刻に変更する。

選択ダイヤルを押すと、時→分→秒の順にカーソルが移動します。選択ダイヤルを回し、テストを開始したい時刻に変更してください（この時刻はテスト用の時刻です。プログラムテスト画面で時刻を変更しても、日時表示画面に表示される時刻は変わりません）。



図 確認メッセージ

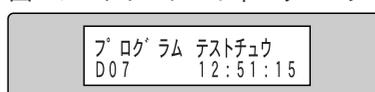


5 **決定** を押す。

確認メッセージが表示されます。

- ▶ テストを開始するときは**決定**を押します。
  - ・ **決定**を押すと、実行中のプログラムが停止します。
  - ・ テスト実行中、液晶画面にプログラムテスト中メッセージが表示されます。
- ▶ **戻る**を押すと、テストプログラムの選択（プログラムテスト画面）に戻ります。

図 プログラムテスト中メッセージ



- 6** テストを終了するときは**決定**を押す。  
テスト終了確認メッセージが表示されます。
- ▶ テストを終了するときは、再度**決定**を押してください。  
プログラム設定メニューに戻ります。
  - ▶ テストを継続するときは、**戻る**を押してください。

---

**メモ** テスト終了後、プログラムを実行する場合は手動で操作してください。詳しくは、23ページをお読みください。

---

図 プログラムテスト中メッセージ

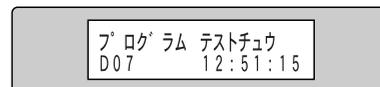
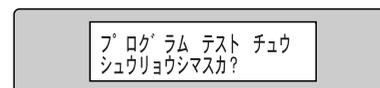


図 テスト終了確認メッセージ



# プログラムのセーブとロード

ここでは、作成したプログラムをPCカードにセーブする方法について説明します。セーブしたプログラムは必要に応じてロードして使用することができます。

- 重要**
- ・ PCカードは別途ご用意願います。使用できるPCカードについては、12ページをご覧ください。
  - ・ アクセス表示が点灯しているときに、PCカードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。PCカードまたはPCカードに記録されているデータが破損します。
  - ・ プログラムをセーブするためには、PCカードに1MB以上の空きが必要です。

## セーブのしかた

プログラムをPCカードに保存する場合は、以下の手順で操作します。

- 1 PCカードをPCカードスロットに挿入する。**  
PCカードスロットは前面ふた内にあります。  
PCカードを挿入して約10秒後にアクセス表示が一瞬点灯します。
- 2 40ページ手順1～3の操作を行い、プログラム設定メニューを表示する。**
- 3 選択ダイヤルを回し、「プログラムセーブ」を表示する。**
- 4 決定を押す。**  
ファイル名選択画面が表示されます。  
PCカードロードエラーが表示される場合はPCカードを確認してください。(PCカードが正常に認識できないときは、「ロードエラー」になります。)
- 5 選択ダイヤルを回し、ファイル名を選択する。**  
PCカードに保存されているプログラムデータがある場合、ファイル名が表示されます。ファイル名を選択すると、PCカードにセーブされているプログラムデータを上書きします。  
「シンキ」を選択ダイヤルで選び、決定を押すとファイル名入力画面が表示されます。  
88ページを参照し、ファイル名を入力してください。

図 PCカード挿入のしかた

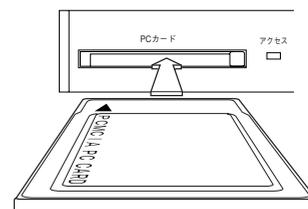


図 プログラム設定メニュー

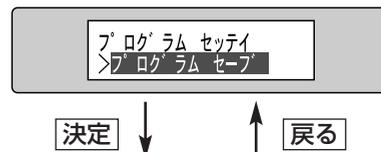


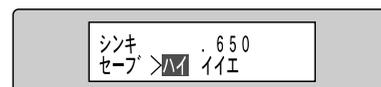
図 ファイル名選択画面



図 ファイル名入力画面



図 確認メッセージ



- メモ** 新規にファイル名を入力する場合、ファイル名は8文字以下としてください。

## 6 ファイル名を選択または入力後、**決定**を押す。

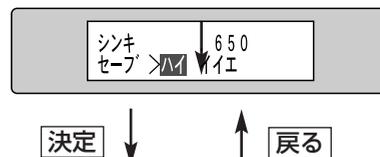
確認メッセージが表示されます。

- ・確認メッセージの上段に、ファイル名が表示されます。ファイル名には識別子（650）が自動的に付加されます。
- ・PCカードに保存されているファイルを選択した場合、確認メッセージの「セーブ」は「ウワガキ」になります。

## 7 選択ダイヤルを回し、「ハイ」または「イイエ」を選択する。

ファイル名を修正するときは**戻る**を押します。ファイル名選択画面に戻ります。

図 確認メッセージ



## 8 **決定**を押す。

### ▶ 「ハイ」を選択した場合

「ハイ」を選択後、**決定**を押すとプログラムのセーブが開始されます。

セーブ中、右のように画面が遷移します。

セーブ完了メッセージは自動的に消え、メインメニューに戻ります。

セーブには最大3分程度かかることがあります。

図 セーブ中画面

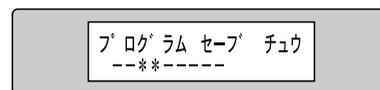
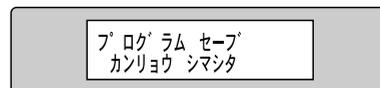


図 セーブ完了メッセージ



セーブ中、エラーが発生するとエラーメッセージを表示します。

エラーが表示されたときは、**決定**を押してください。

プログラム設定メニューに戻ります。

図 エラーメッセージ



### ▶ 「イイエ」を選択した場合

「イイエ」を選択後、**決定**を押すとプログラムのセーブを中止しファイル名選択画面に戻ります。

- メモ**
- ・プログラムセーブを実行すると、作成したすべてのプログラムをPCカードにセーブします。プログラムの種類を選択してセーブすることはできません。
  - ・セーブ中、エラーメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。
    - ・PCカードに、プログラムをセーブするために必要な空きがあるか？（確認はPCカードスロットを装備したパーソナルコンピューターで行ってください）
    - ・PCカードスロットに、PCカードが正しく挿入されているか？
    - ・動作確認済みのPCカードを使用しているか？
 確認後、再度エラーが発生するときは販売店にご相談ください。
  - ・パーソナルコンピューターなどでファイルを作成する場合、ファイル名に使用できる文字が限られます。詳しくは88ページをお読みください。
  - ・「キョウ」プログラムはセーブできません。

## ロードのしかた

運用中のプログラムをPCカードにセーブ（保存）されているプログラムをロードして（読み込んで）切り換えることができます。

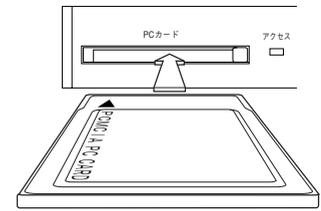
**重要** 特に、他の機器でセーブしたプログラムを使用するなど、セーブ時の機器構成またはシステム設定が異なると、ロード時、エラーが発生する場合があります。エラーが発生したときは次ページを参照し、操作をしてください。

### 1 PCカードスロットに、プログラムがセーブされているPCカードを挿入する。

PCカードスロットは前面ふた内にあります。

PCカードを挿入して、約10秒後にアクセス表示が一瞬点灯します。

図 PCカード挿入のしかた



### 2 40ページ手順1～3の操作を行い、プログラム設定メニューを表示する。

### 3 選択ダイヤルを回し、「プログラムロード」を表示する。

### 4 **決定**を押す。

プログラム種別選択画面が表示されます。

### 5 選択ダイヤルを回し、ロードするプログラムの種類を選択する。

選択できる種類は下表のとおりです。

表 選択できるプログラムの種類

種類	概要
ALL	全種類のプログラムをロードします。
Sun～Sat	指定した曜日のプログラムをロードします。
D01～D16	指定した特定日のプログラムをロードします。
年（ネン）	年間スケジュールをロードします。

図 プログラム設定メニュー

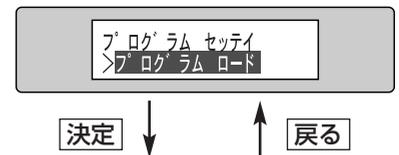


図 プログラム種別選択画面



図 ファイル名選択画面



### 6 **決定**を押す。

**決定**を押すと、ファイル名選択画面が表示されます。

液晶画面の下段に、PCカードに保存されているファイルの名前が表示されます。

**メモ** 本機は識別子として「.650」が付加されているファイルをプログラムが記録されているファイルとして認識します。PCカードに、パーソナルコンピュータなどで識別子「.650」のファイルを作成すると、そのファイルもプログラムファイルとして認識されますのでご注意ください。

**7 選択ダイヤルを回し、ファイル名を選択する。**  
 PCカードに、プログラムファイルがセーブされていない、またはファイルが1つしかセーブされていない場合は、ファイルを選択することはできません。

図 ファイル名選択画面



**8 ファイル名を選択した後、「決定」を押す。**  
 確認メッセージが表示されます。

図 確認メッセージ



▶ **「ハイ」を選択した場合**

「ハイ」を選択後、「決定」を押すとプログラムのロードが開始されます。

ロード中、右のように画面が遷移します。

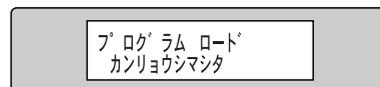
自動的に、メインメニューに戻ります。

ロードには最大1分程度かかることがあります。

図 システム設定ロード中



図 プログラムロード完了



▶ **ロード中エラーが発生した場合**

ロード中、エラーが発生するとエラーメッセージを表示します。エラーメッセージには、「ロード中エラー」と「ロードエラー」があります。

・ロード中エラー

このエラーは、主に、PCカードをロード中に抜くと発生します。

エラーメッセージ確認後、「決定」を押してください。プログラム設定画面に戻ります。PCカードを挿入後、ロードをやり直してください。

・ロードエラー

このエラーはロードしたプログラムに矛盾（開始/終了時刻が逆転しているなど）がある場合表示されます。

このエラーが発生した場合、エラーが発生したステップは自動的に削除されます。

選択ダイヤルを回し、エラーが発生したプログラム種別を確認してください。

図 ロード中エラー

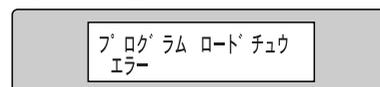
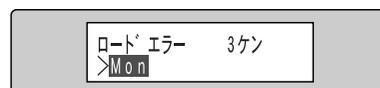


図 ロードエラー



上段：エラーが発生したプログラム数  
 下段：プログラム種別

▶ **「イイエ」を選択した場合**

「イイエ」を選択後、「決定」を押すと、プログラムのロードを行わずにファイル名選択画面に戻ります。

**メモ** ・プログラム実行中にロードを行うと、ロード完了後自動的に、ロードしたプログラムに切り換わります。  
 ・「キョウ」プログラムはロードできません。

**運用当日割り当てられているプログラムをロードすると**

運用当日に割り当てられているプログラム（曜日、特定日）または「ALL」指定でプログラムをロードするとプログラムロード完了メッセージ表示後、確認メッセージが表示されます。確認メッセージについては41ページをお読みください。ロードエラーが表示されたときは、確認メッセージで「イイエ」を選択してください。

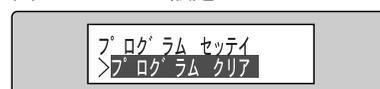
# プログラムの消去

本機に登録されているプログラムを消去するときは次のように操作します。

**重要** この操作を行うと、登録されているすべてのプログラムが消去されます。消去したプログラムを回復することはできません。操作を行う前に、登録されているプログラムをPCカードにセーブすることをおすすめします。

1 40ページ手順1～3の操作を行い、プログラム設定メニューを表示する。

図 プログラム設定メニュー

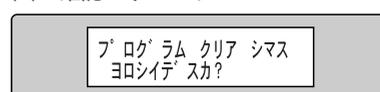


2 選択ダイヤルを回し、「プログラムクリア」を表示する。



3 **決定** を押す。

図 確認メッセージ



確認メッセージが表示されます。

- ▶ 消去を実行するときは**決定**を押します。消去中、右のように画面が遷移し、自動的に、プログラム設定メニューに戻ります。
- ▶ 消去を中止するときは**戻る**を押します。プログラム設定メニューに戻ります。

# 工事説明



## 警告

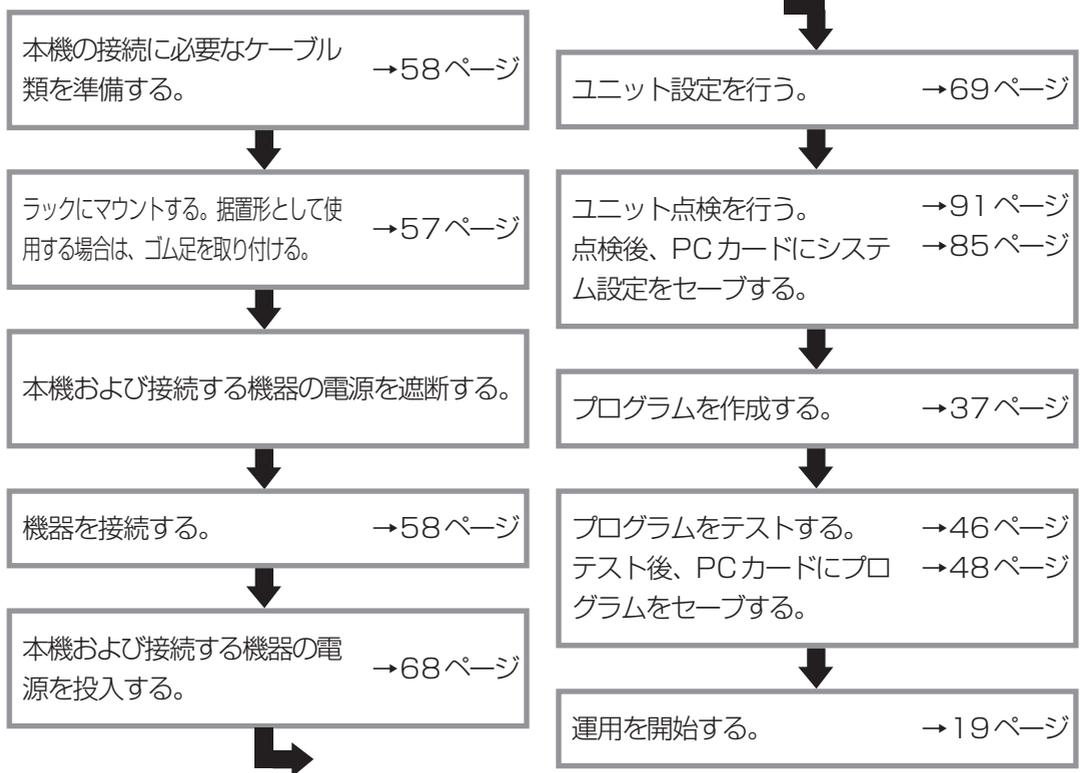
工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

## 工事を始める前に

### 作業概要

作業概要は次のとおりです。

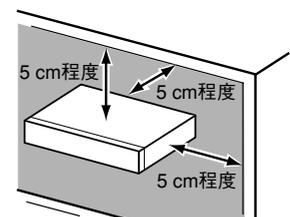


### 以下の場所には設置しないでください

- (1) 直射日光の当たる場所
- (2) 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- (3) スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- (4) 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- (5) 厨房など蒸気や油分などの多い場所
- (6) 傾斜のある場所

### 横置き（水平）に設置してください

縦置きや傾けて設置しないでください。段積みする際は、上下の間隔を5 cm程度空けてください。



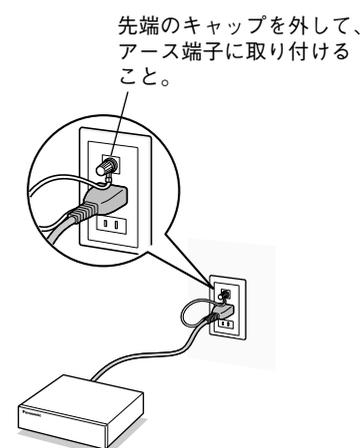
## 雑音源は避ける

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、動作が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または、本機の位置を変えてください。

## アース (設置) について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。

アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値 (100 Ω以下) をご確認ください。



## 電源について

アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。本機に、電源スイッチはありません。電源を遮断するときは電源コードを抜いてください。

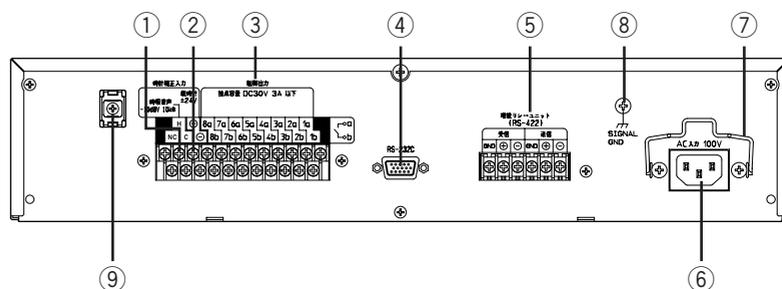
また、電源コードは、必ず遮断装置を介して、次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置 (電源プラグ) を介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

## 時計自動補正機能を使用する場合

ほかの機器からの信号で本機の時計を補正する場合は、30秒式の親時計をお使いください。1秒式の親時計で、時計を補正することはできません。

## 各部の名前と働き（後面）



### ① 時計補正入力（音声入力、-10 dBV 10 k $\Omega$ ）

外部FMチューナーで、本機の時計を補正する場合に使用します。

### ② 親時計信号入力（親時計、 $\pm 24$ V）

外部の親時計で本機の時計を補正する場合に使用します。

### ③ 制御出力端子 1～8

リレー制御による無電圧メイク接点です。1a (1b)～8a (8b) は、それぞれプログラム設定時の接点制御出力番号R001～R008に対応しています。

**重要** 接点容量はDC30V 3A以下です。接点容量を超える機器を接続すると故障の原因となります。

### ④ RS-232C 端子

当社デジタルICレコーダー、デジタルICプレーヤーまたはCDミュージックプレーヤーを接続します。この端子にPCを接続すれば、PCから本機を制御できます。制御するために必要な設定支援ソフトについては販売店にご相談ください。

**メモ** RS-232C 端子は本機前面にもあります。両方の端子を同時に使用することはできません。どちらの端子を使用するかは、前面の設定スイッチで設定します。詳しくは67ページをお読みください。

### ⑤ 増設リレーユニット接続端子（受信、送信）

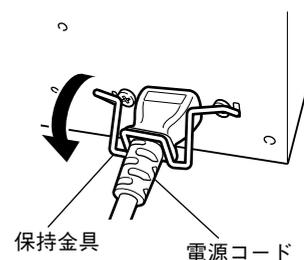
当社増設ユニット（WZ-643）を接続して、接点制御出力の局数を増設するときに使います。

### ⑥ 電源インレット

付属の電源コードを接続します。電源コードの電源プラグはAC 100 Vの電源コンセントに接続してください。

### ⑦ 保持金具

付属の電源コードの抜け止めに使います。



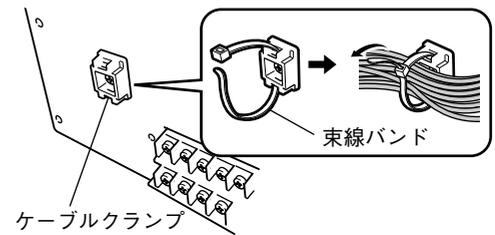
---

⑧ アース端子〔SIGNAL GND〕（ㇿ）

外部機器と接続する場合は、各機器間の電位差をなくすため、各機器のアース端子を接続してください。

⑨ ケーブルクランプ

付属の束線バンドで、ケーブルを固定するときに使います。



# 設置のしかた

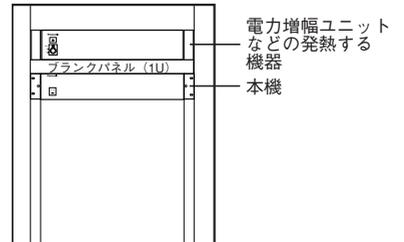
## ラックにマウントする場合

### ラックにマウントするときは

本機をラックマウントする場合は、必ずEIA規格相当のラック（奥行き450 mm以上）をご使用ください。次のいずれかをご使用ください。

- ・スタンダードラック : WU-RS80（収納ユニット数 29U）
- ・ロングラック : WU-RL85（収納ユニット数 41U）
- ・EIA規格相当品 : EIA19型 奥行き450 mm以上

図 ラック取付例

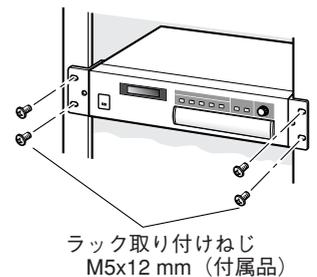
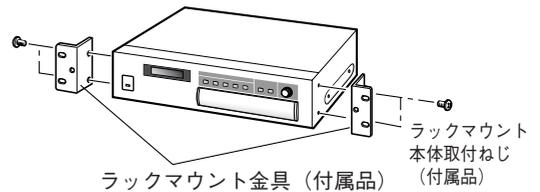
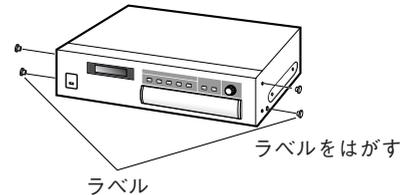


- 重要**
- ・本機は電力増幅ユニットなど発熱する機器よりも下に設置し、1U分以上の間隔を空けてください。
  - ・ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。
  - ・振動の多い場所には設置しないでください。

### ラックに取り付ける

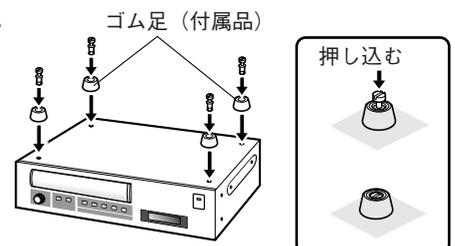
以下の手順で取り付けます。

- 1 本機両側面にあるラベル（4か所）をはがす。
- 2 付属のラックマウント本体取付ねじ4本（M4×10 mm）で本機に、ラックマウント金具を取り付ける。  
ねじ（M4）の締付トルクは、127～147 N・cm {13～15 kgf・cm} です。
- 3 付属のラック取付ねじ4本（M5×12 mm）で、本機をラックに取り付ける。  
ねじ（M5）の締付トルクは、157～177 N・cm {16～18 kgf・cm} です。



## 据置形として使用する場合

付属のゴム足4個を底面に差し込んでご使用ください。



# 接続のしかた

## 制御出力端子の接点容量について

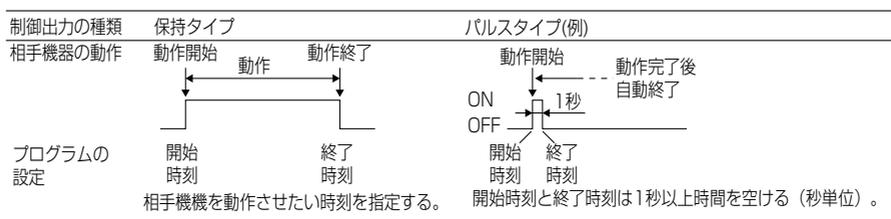
本機後面にある接点制御出力の接点容量はDC30 V 3 Aです。この容量を超える機器は接続できません。

### プログラム作成／システム設定時の留意点

相手機器のタイプに合わせて、プログラムを作成してください（詳細は37ページ）。

**保持タイプ機器**：制御出力がONの間動作する機器です。相手機器の動作を開始する時間を開始時刻に、動作を終了させる時間を終了時刻に設定します。

**パルスタイプ機器**：制御出力をONにしたとき動作を開始する機器です。動作終了条件は相手機器によって異なります。相手機器の動作を開始させる時間を開始時刻に指定します。本機は秒単位の設定のため、1秒後の時間を終了時刻に設定します。



## 接続ケーブルについて

本機は、接続に必要なケーブルを付属していません。下表を参照し、接続に必要なケーブルをあらかじめご用意願います。

線材※1	概要	ケーブル仕様
ツイスト線	制御出力端子と他の機器の端子を接続するとき必要	
音声	外部FMチューナーを使用して、時計補正を行う場合の接続に必要	
RS-232Cケーブル (9pin-9pin)	PCまたはデジタルICレコーダー(またはプレーヤー)を接続するとき必要 2、3、5ピンの接続を確認してください。	
RS-232Cケーブル※2 (9pin-25pin)	CDミュージックプレーヤーを接続するとき必要 9pコネクター側の2、3、5ピンの接続を確認してください。	

※1：時計補正に親時計を使用する場合、必要なケーブルについては親時計の取扱説明書をお読みください。

※2：CDミュージックプレーヤーを使用する場合、別途RS-232Cインターフェースが必要です。詳細はご使用になる機器の取扱説明書をお読みください。

# 業務用放送の制御のしかた

## 電源制御

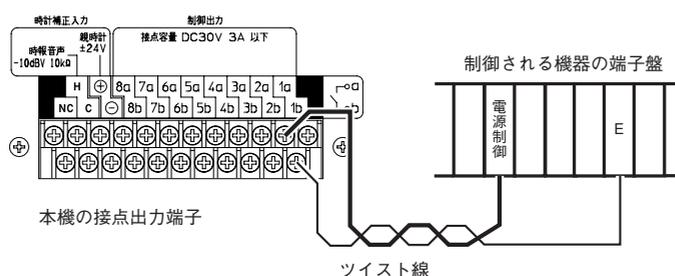
ラックアンプなどの端子盤にある電源制御端子とつなぎます。相手機器の電源の入切を制御します。

**メモ** 電源制御端子のある機器のみ制御できます。AC 100 Vを直接ON/OFFすることはできませんので注意してください。

### プログラム作成/ システム設定時の留意点

相手機器の電源をONにする間、該当する接点制御出力をONにします。接点制御出力をOFFにすると相手機器の電源をOFFにします。機器によって端子盤名称などが異なります。相手機器の取扱説明書をご確認ください。

### 接続例



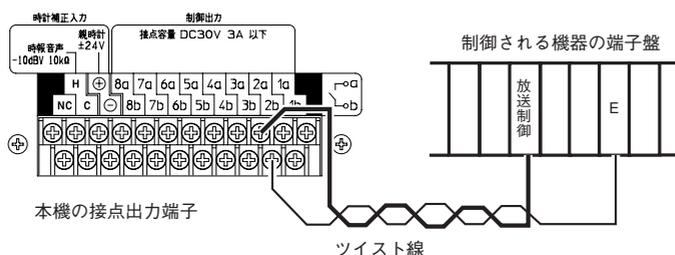
## 放送制御

非常用放送設備、ラックアンプなどの端子盤にある放送制御端子とつなぎます。相手機器の電源を入れて、一斉放送または個別放送状態にします。

### プログラム作成/ システム設定時の留意点

放送開始時刻に、接点制御出力をONにします。放送終了時刻に、接点制御出力をOFFにします。機器によって終了時刻の指定方法が異なります。相手機器の取扱説明書をご確認ください。

### 接続例



# ハイパワーアンプとの接続

本機でハイパワーアンプの電源を制御し、一斉放送の状態にする場合の接続方法について説明します。

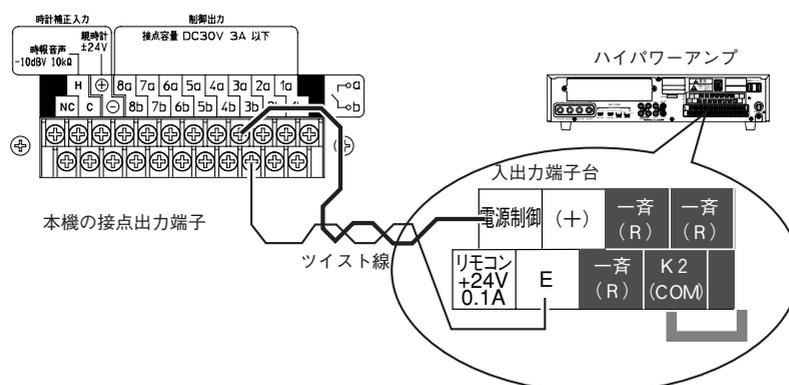
## 放送制御

アンプの電源を入れ一斉放送の状態にします。

プログラム作成/  
システム設定時の留意点

相手機器の電源をON（一斉放送状態）にする時刻に、接点制御出力をONにします。一斉放送状態を解除する時刻に、接点制御出力をOFFにします（電源がOFFになります）。

### 接続例



**メモ** 一斉放送を行わずに、電源のON/OFFのみ行うこともできます。詳しくはお使いになる機器の取扱説明書をお読みください。

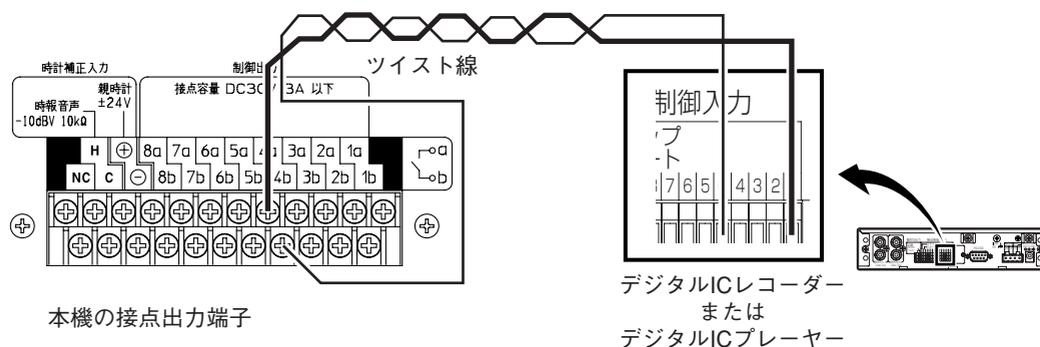
# デジタルICレコーダー／プレーヤーとの接続

デジタルICレコーダーまたはデジタルICプレーヤーを接点制御出力で制御する場合の接続のしかたについて説明します。通信制御出力で制御する場合は65ページをお読みください。

プログラム作成／  
システム設定時の留意点

放送を開始する時刻に、制御出力を1秒間 ON します（デジタルICレコーダー／プレーヤーを出荷時の状態で使用している場合）。曲の演奏が終了すると、デジタルICレコーダーまたはデジタルICプレーヤーは自動的に停止します。

## 接続例



上図は、デジタルICレコーダーまたはデジタルICプレーヤーの制御入力端子に割り当てられているメッセージ（曲／チャイム）を放送する例です。放送するメッセージの割り当てかたはデジタルICレコーダーまたはデジタルICプレーヤーの取扱説明書をお読みください。

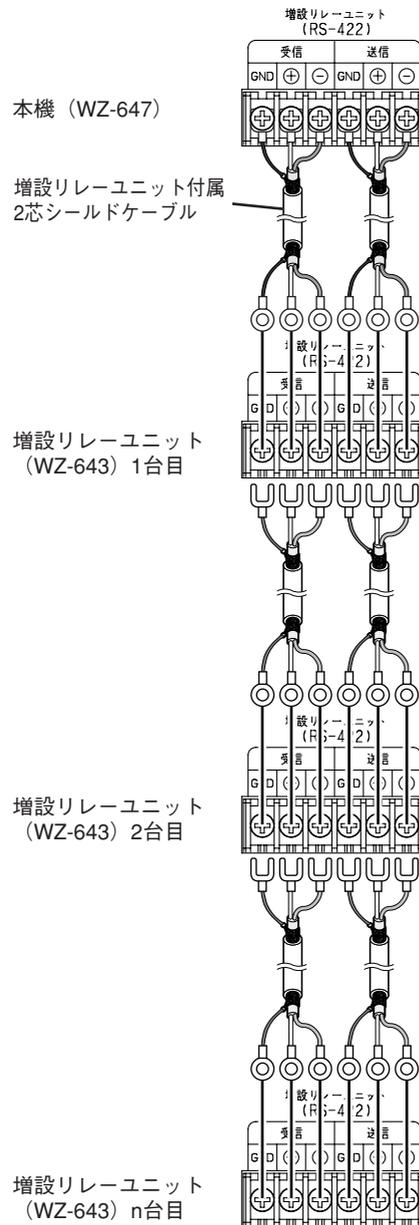
# 増設リレーユニットとの接続

増設リレーユニットを接続することによって、接点制御出力の局数を増やすことができます。増設リレーユニットは9台まで接続することができます。

プログラム作成/  
システム設定時の留意点

接続した増設リレーユニットの台数をシステム構成メニューで設定する必要があります。詳しくは83ページをお読みください。

増設リレーユニット接続端子の接続



# 時計補正用機器との接続

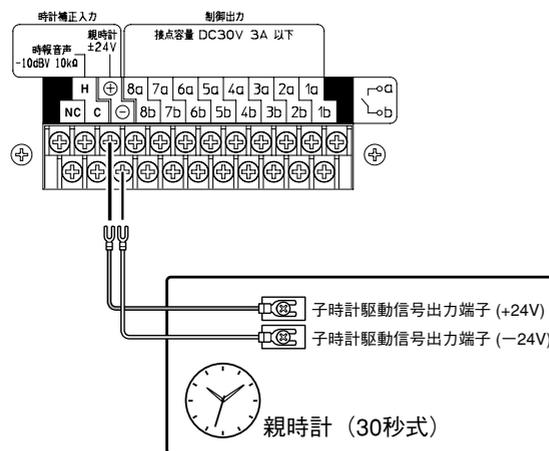
時計補正用機器で本機の時計を補正する場合、親時計、またはFMチューナーを本機に接続します。

## 親時計を使用して時計を補正する場合

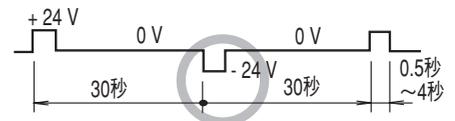
30秒式親時計の出力を本機につなぎます。プラス/マイナスをテスターで確認後、極性を合わせて接続します。

**重要** 1秒式の親時計では本機の時計を正しく補正することはできません。30秒式親時計を接続してください。

### 接続例



●本機の内部時計の時刻は「30秒式親時計」信号で補正できます（下図）。



●「1秒式親時計」からの信号では、正しく時計を補正できません。

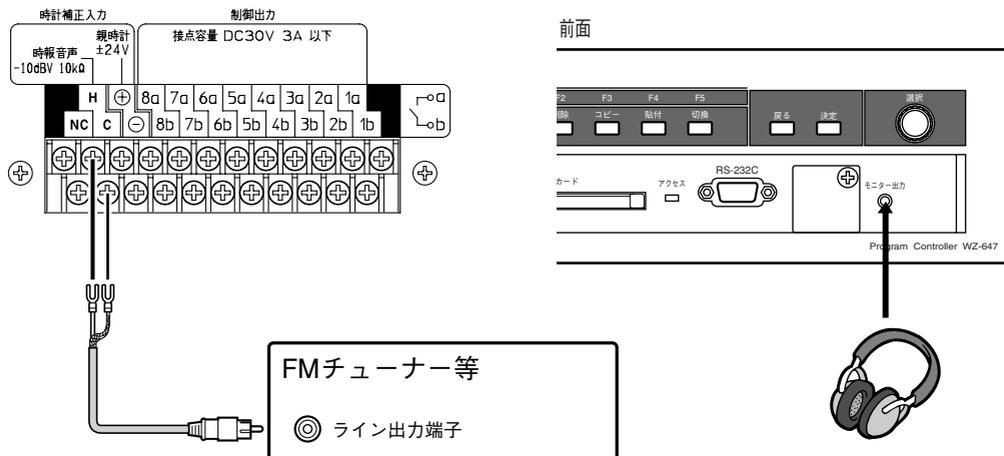


## FMチューナーを使用して時計を補正する場合

FMチューナーの音声出力を接続します。

- 重要**
- ・NHK-FMを正常に受信していることをFMチューナーのスピーカーまたは前面モニター出力端子にヘッドホンを接続して確かめてください。
  - ・スピーカー出力を接続しないでください。故障の原因となります。必ずライン出力をつないでください。

### 接続例



# RS-232C 端子による接続

RS-232C 端子には、次に示す機器を1台接続できます。なお、RS-232C 端子は本機前面と後面にありますが、両方同時に使用することはできません（設定スイッチで切り換えます）。

- ・ 当社製演奏機器
- ・ RS-232C 端子を装備したパーソナルコンピューター

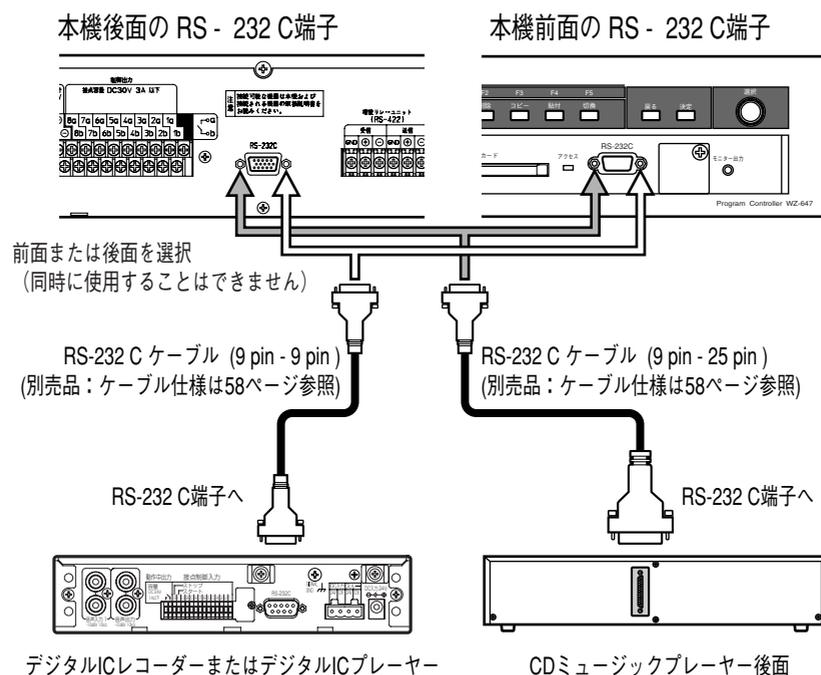
## 当社製演奏機器との接続

後面パネルのRS-232C 端子にRS-232C 機能を装備した演奏機器を接続します。プログラムまたは機能ボタンによる操作で指定曲を演奏します。

プログラム作成/  
システム設定時の留意点

使用するRS-232C 端子を設定スイッチで設定してください。設定のしかたは67ページをお読みください。また、システム設定メニューで接続機器を登録する必要があります（83ページ）。

接続例



メモ

- ・ この制御は1曲指定の再生のみ可能です。
- ・ 次の機器を接続することができます。  
デジタルICレコーダー／プレーヤー (WZ-DP150、WZ-DP250、WZ-DP100、WZ-DP200)  
CDミュージックプレーヤー (WB-651、WB655)  
※WB-655Aは接続できません。

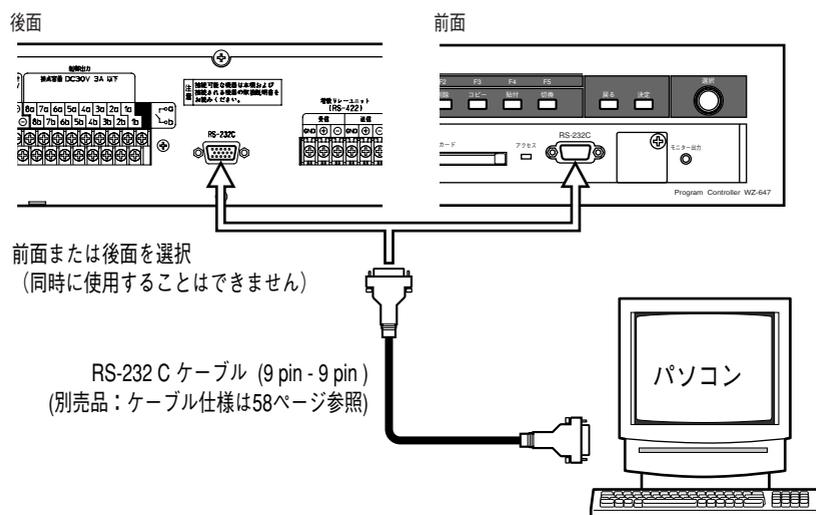
## パーソナルコンピューターとの接続

前面または後面のRS-232C端子にパーソナルコンピューターを接続します。

プログラム作成/  
システム設定時の留意点

使用するRS-232C端子を設定スイッチで設定してください。設定のしかたは67ページをお読みください。また、システム設定メニューで接続機器を登録する必要があります(83ページ)。

### 接続例



パーソナルコンピューターから操作するために必要な設定支援ソフトについては、販売店にご相談ください。

# システム設定

## 作業手順

システムを設定する場合は、以下の手順で作業してください。

表 作業手順

手順	作業内容	概要
1	設定スイッチの設定	RS-232C端子の用途を設定します。
2	電源コードの接続	通電時、初期化エラーが発生しないかを確認します。
3	メニューによる基本設定	本機の時刻および基本動作を設定します。
4	ユニット点検を行う	制御出力が動作するかどうかテストします。

## 設定スイッチの設定

表「設定スイッチの設定方法」を参照し、設定スイッチを設定してください。なお、設定スイッチ3～8は操作しないでください。

図 設定スイッチ

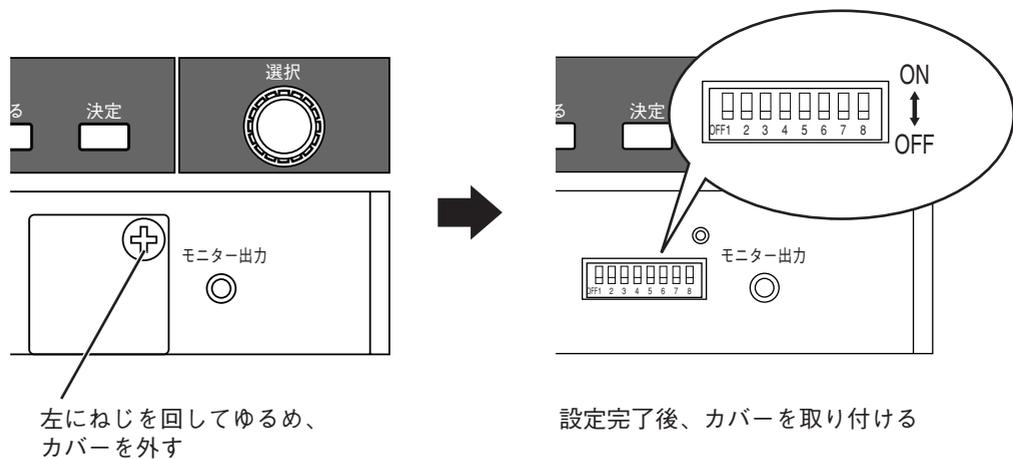


表 設定スイッチの設定方法

設定スイッチ番号	機能概要	設定内容	お買い上げ時の設定	備考
1	前面/後面どちらのRS-232C端子を使用するかを設定する。	ON : 前面 OFF : 背面	OFF	同時に、前面/後面の端子を使用することはできません。
2	RS-232C端子に接続されている機器の種別を設定する。	ON : 演奏機器 OFF : パソコン	OFF	
3~8	固定	OFF	OFF	変更すると誤動作します。

---

## 電源コードの接続

接続および設定スイッチの設定完了後、付属の電源コードを本機およびAC100Vコンセントに接続し、通電します。

電源投入時の動作は、19ページをお読みください。

電源投入時、初期化エラーが発生した場合、次の項目を確認してください。

- ・ 接続に誤りがないか確認してください。
- ・ ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。
- ・ 設定スイッチの設定に誤りがないか確認してください。

確認してもなお、初期化エラーが発生する場合は販売店にご相談ください。

---

## 基本動作に関する設定

本機の基本動作はユニット設定メニューで設定します。その後、ユニット点検を行い各機器が正しく動作するか確認してください（点検のしかたは91ページをお読みください）。

---

**重要** 運用中に、基本設定の変更または点検を行う場合、現在実行中のプログラムを停止する必要があります。運用状態を確認の上、実行してください。

---

表 ユニット設定項目

設定項目	概要
時計設定	本機の時計（年、月、日、時、分）を設定します。この時刻に従ってプログラムが動作します。
システム設定	システムの設定を変更したい場合に操作します。機能ボタン、キーロック、オートスタート、日付変更時刻、リレー名称、システム構成を設定します。詳細は71ページをお読みください。
システム設定ロード	PCカードからシステム設定を読み込みます。詳細は86ページをお読みください。
システム設定セーブ	PCカードに、システム設定を保存します。詳細は85ページをお読みください。
設定初期化	システム設定および作成したプログラムの内容を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。詳細は90ページをお読みください。

# ユニット設定の実行

ユニット設定を行う場合、次の手順で操作してください。

- 1 **決定** を押し、液晶画面にメインメニューを表示する。

図 メインメニュー



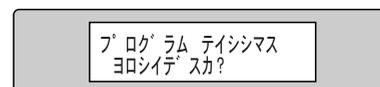
- 2 選択ダイヤルを回し、「ユニットセッテイ」を表示する。



- 3 **決定** を押す。

確認メッセージが表示されます。

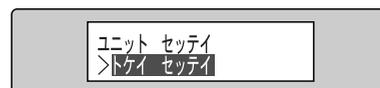
図 確認メッセージ



- ▶ ユニット設定を行うためには、現在実行中のプログラムを停止する必要があります。本当に停止して良い場合は**決定**を押します。**決定**を押すと、ユニット設定メニューが表示されます。



図 ユニット設定メニュー



- ▶ ユニット設定を中止する場合は、時刻が表示されるまで**戻る**を押してください。

- 4 選択ダイヤルを回し、設定項目を選択する。

- ▶ 設定項目を選択し、**決定**を押すと設定画面が表示されます。システム設定を選択した場合、システム設定メニューが表示されます。

- ▶ ユニット設定を終了するときは、時刻が表示されるまで**戻る**を押してください。その後、手動でプログラムを実行してください。プログラムの実行のしかたは23ページをお読みください。

ユニット設定完了後、プログラムを手動で開始するまでプログラムは停止状態になります。忘れずに、プログラムを手動で実行してください (23ページをお読みください)。

# 時計の設定

液晶画面に表示される時刻が現在時刻と異なる場合、以下の手順で時刻を再設定してください。

- 1 69ページ1～3の操作を行い、ユニット設定メニューを表示する。

図 ユニット設定メニュー

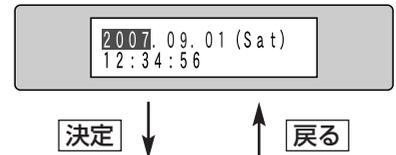


- 2 選択ダイヤルを回し、「トケイ セッテイ」を表示する。

- 3 **決定** を押す。

時計設定画面（日時）が表示されます。

図 時計設定画面



- 4 選択ダイヤルを回し、年を選択後、選択ダイヤルを押す。

年は、西暦2000年～2099年の範囲で選択できます。選択ダイヤルを押すと、カーソルは「年」→「月」→「日」→「時」→「分」の順に移動します。月、日、時（24時間制）、分を設定してください（秒）は設定しません。曜日は、「年」、「月」、「日」をもとに、自動的に表示されます。

図 確認メッセージ



- 5 変更が完了したら **決定** を押す。

▶ 時刻を設定する場合は、「ハイ」にカーソルを移動します。

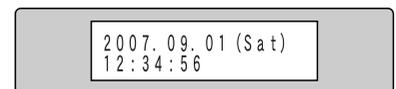
NTTの時報サービスまたはNHKの時報に合わせて、**決定** を押してください。

**決定** を押すと、日時表示に戻り、時計が動き出します（秒は設定した「分」の0秒にリセットされます）。

▶ 設定を中止するときは、「イイエ」にカーソルを移動し、**決定** を押します。時刻を変更せずに時刻設定画面に戻ります。

▶ **戻る** を押すと、時刻を設定せずに時計設定画面に戻ります。

図 日時表示



# システム設定メニューによる基本動作の設定

システム設定メニューで本機の動作方法を設定します。次の項目を設定できます。

表 システム設定項目

項目	概要	お買い上げ時の設定
ファンクションキー (機能ボタン)	機能ボタン (F1 ~ F5) を押したときに実行する機能を割り当てます。	設定なし
キーロック設定	キーロック時、機能ボタンの操作を有効にするか無効にするかを設定します。	無効
オートスタート	電源投入時または停電復旧時、自動的にプログラムを実行するかどうかを設定します。	AUTO
日付変更時刻	プログラムの日付変更時刻を設定します。	00:00:00
リレー名称	用途が分かるよう、制御出力番号に名前を設定します。	制御出力番号 (例：セッテン1)
システム構成	演奏機器 RS-232C端子に演奏機器を接続している場合、接続している演奏機器の品番を設定します*。 増設リレーユニット 増設リレーユニットの接続台数を設定します。	WZ-DP250 0

※：設定スイッチの設定が必要です (67ページ)。

上記設定内容は、システム設定セーブ機能でPCカードにセーブできます。PCカードにセーブされたシステム設定がある場合、その設定を読み込ませて使用することもできます。

## システム設定の実行

システムの設定は、液晶画面にシステム設定メニューを表示して行います。  
システム設定メニューを表示するには以下の手順で操作します。

1 69ページ1～3の操作を行い、ユニット設定メニューを表示する。

2 選択ダイヤルを回し、「システム セッテイ」を表示する。

3 **決定** を押す。

システム設定メニューが表示されます。

4 選択ダイヤルを回し、設定項目を選択する。

5 **決定** を押す。

**決定** を押すと、設定画面が表示されます。

6 各項目の説明を参照し、システム設定項目を設定する。

7 設定完了後、**戻る** を数回押してシステム設定メニューに戻る。

8 システム設定メニューに戻った後、再度**戻る** を押す。

図 ユニット設定メニュー



図 システム設定メニュー



### システム設定を変更した場合

ユニット設定メニューに戻るとき、液晶画面にメッセージ「ユニットセッテイニ モドリマス」が表示されます。メッセージは自動的に消え、ユニット設定メニューが表示されます。

### ユニット設定メニューに戻れない場合

システム設定とプログラム間とで矛盾がある場合、システム設定を終了しユニット設定メニューに戻ることができません。この現象は、機器構成（増設リレーユニットの台数を削減）または日付変更時刻を変更すると発生することがあります。システム設定内容を変更前の状態に戻すとユニット設定メニューに戻ることができます。

システム設定で増設リレーユニットの台数または日付変更時刻を変更する場合、次の内容に注意してください。

#### ・増設リレーユニットの台数を変更する場合

増設リレーユニットの台数を減らす前に、削減する増設リレーユニットの接点制御出力を制御するプログラムのステップをすべて削除してください。

#### ・日付変更時刻を変更する場合

日付変更時刻を変更する前に、変更予定の日付変更時刻に対して日をまたがるステップがプログラム中に存在しないことを確認してください。

変更予定の日付変更時刻に対して日をまたがるステップが存在する場合は、そのステップを削除するか日付変更時刻でステップを分けてください。

## 機能ボタンへの機能の割り当て

機能ボタン (F1～F5) を押したときに、実行する機能を割り当てます。

各ボタンには、表「機能ボタンに割り当てることができる機能」に示す機能を1つだけ割り当てることができます。

- メモ** 1つの機能ボタンに1つだけ機能を割り当てることができます。1つのボタンに複数の機能を同時に割り当てることはできません。例えば、個別リレー操作をF1、F2に割り当てることができますが、F1に個別リレー操作と複数リレー操作を同時に割り当てることができません。

表 機能ボタンに割り当てることができる機能

機能名	概要
機能なし	機能ボタンに機能を割り当てません。割り当てた機能を削除するときに選択します。
個別リレー操作	手動で制御出力 (1つ) を反転 (ON/OFF) する機能です。
複数リレー一括操作	複数のリレーを同時にON/OFFする機能です。
プログラム差換操作	実行中のプログラムを特定日 (D01～D16) のプログラムに差し換える機能です。
プレーヤー演奏	ディスク番号、チャンネル番号、曲番号を指定して曲またはメッセージを放送する機能です。設定スイッチ2がONのときに選択・設定できます (67ページ)。
キー名称	機能ボタンに名前を設定します。

上記機能は次ページの手順で設定します。

1 72 ページ1～3の操作を行い、システム設定メニューを表示する。

2 選択ダイヤルを回し、「ファンクションキー」を表示する。

3 **決定** を押す。  
機能ボタン設定メニューが表示されます。

4 選択ダイヤルを回し、設定する機能ボタン (F1～F5) を選択し、**決定** を押す。  
カーソルが下段に移動します。

5 選択ダイヤルを回し、割り当てる機能を選択する。

6 **決定** を押す。  
**決定** を押すと、各機能の設定画面が表示されます。  
設定のしかたは、各機能の設定方法をお読みください。

機能ボタンに、割り当てられている機能を解除するときには「キノウ ナシ」を選択し、**決定** を押します。

7 設定を登録するときは **決定** を押す。登録せずに、設定画面に戻るときは **戻る** を押す。

▶ 設定内容を登録するときは **決定** を押します。液晶画面に、「セッテイヲ ホゾンシマシタ」とメッセージが表示されます。メッセージは自動的に消え、機能ボタン設定メニューに戻ります。

▶ **戻る** を押すと設定画面に戻ります。

8 設定を終了するときには、**戻る** を数回押し、システム設定メニューを表示する。

図 システム設定メニュー



図 機能ボタン設定メニュー



図 機能割り当て解除設定画面



図 個別リレー操作設定画面



図 複数リレー操作設定画面



図 プログラム差換設定画面



図 プレーヤー演奏設定画面※

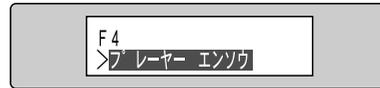
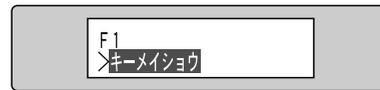


図 キー名称設定画面



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ ホゾンシマシタ」を表示後、機能ボタン設定メニューに戻る。

※ 設定スイッチの設定が演奏機器に設定されている場合にのみ選択できます。

### ●機能ボタンに割り当てた機能を削除する

機能ボタンに割り当て機能を削除するときは、機能ボタン設定メニューで「キノウナシ」を表示した後、**決定**を押します。

液晶画面に「セッテイヲ ホゾンシマシタ」メッセージを表示後、割り当てた機能を削除します（機能ボタン設定メニューに戻ります）。

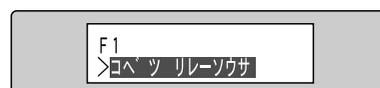
図 機能割り当て解除設定画面



### ●機能ボタンに個別リレー操作を設定する

- 1 機能ボタン設定メニューで「コベツ リレー ソウサ」を表示する。

図 個別リレー操作設定画面



- 2 **決定**を押す。

個別リレー設定画面が表示されます。



- 3 選択ダイヤルを回し、操作するリレー番号（制御出力番号）を1つ選択する。

図 個別リレー選択画面



選択範囲：接点制御出力R001～R008、R010～R099

選択できる制御出力番号は、設定スイッチまたはシステム設定の設定によって異なります。設定によっては、機器が接続されていない場合でも制御出力番号を選択できることがあります。



液晶にメッセージ「セッテイヲ ホゾンシマシタ」を表示後、機能ボタン設定メニューに戻る。

- 4 登録するときは**決定**を押す。

登録せずに、個別リレー操作画面に戻るときは**戻る**を押す。

- ▶ **決定**を押すと、液晶画面に、「セッテイヲ ホゾンシマシタ」とメッセージが表示され、設定内容が登録されます。メッセージは自動的に消え、機能ボタン設定メニューに戻ります。
- ▶ **戻る**を押すと、設定を登録せずに、個別リレー操作画面に戻ります。

## ●機能ボタンに複数リレー操作を設定する

1 機能ボタン設定メニューで「フクスウ リレーソウサ」を表示する。

図 複数リレー操作設定画面

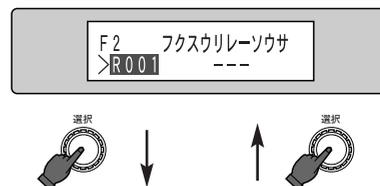


2 決定を押す。

複数リレー操作設定画面が表示されます。

下段左に制御出力番号、右に設定されている制御方法が表示されます。

図 複数リレー選択画面



3 選択ダイヤルを回し、制御するリレー番号を選択する。

選択範囲：接点制御出力R001～R008、R010～R099

選択できる制御出力番号は、設定スイッチまたはシステム設定の設定によって異なります。設定によっては、機器が接続されていない場合でも制御出力番号を選択することができます。



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ ホゾンシマシタ」を表示後、機能ボタン設定メニューに戻る。

4 選択ダイヤルを押す。

選択ダイヤルを押すと、右にカーソルが移動します。

設定を終了するときは「戻る」を押します。機能ボタン設定メニューに戻ります。

5 選択ダイヤルを回し、制御方法を選択する。

以下の項目を選択できます。

--- : 実行中のプログラムの設定に従って動作します。強制的にON/ OFFを変更した場合は、実行中のプログラムの設定に戻ります (お買い上げ時の設定)。

ON : 強制的にONにします。

OFF : 強制的にOFFにします。

6 登録するときは「決定」を押す。

登録せずに、複数リレー操作設定画面に戻るときは「戻る」を押す。

▶ 「決定」を押すと、液晶画面に、「セッテイヲ ホゾンシマシタ」とメッセージが表示され、設定内容が登録されます。メッセージは自動的に消え、機能ボタン設定メニューに戻ります。手順1からの操作を繰り返して、同じ機能ボタンで複数の制御出力を同時に制御できます。

▶ 「戻る」を押すと、設定を登録せずに、複数リレー操作設定画面に戻ります。

## ●機能ボタンにプログラム差換機能を設定する

1 機能設定メニューで「プログラム サシカエ」を表示する。

図 プログラム差換設定画面



2 **決定** を押す。

プログラム差換設定画面が表示されます。



3 選択ダイヤルを回し、差し換えるプログラムを選択する。

図 プログラム差換選択画面



特定日用のプログラム (D01～D16) を選択できます。  
特定日用のプログラムは、機能ボタンに登録してから作成することもできます。



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ  
ホゾンシマシタ」を表示後、機能ボ  
タン設定メニューに戻る。

4 登録するときは**決定**を押す。  
登録せずに、プログラム差換設定画面に戻るときは**戻る**を押す。

▶ **決定** を押すと、液晶画面に、「セッテイヲ ホゾンシマシタ」とメッセージが表示され、設定内容が登録されます。メッセージは自動的に消え、機能ボタン設定メニューに戻ります。

▶ **戻る** を押すと、設定を登録せずに、プログラム差換設定画面に戻ります。

## ●機能ボタンにプレーヤー演奏を設定する

プレーヤー演奏は、設定スイッチが演奏機器に設定されている場合にのみ設定できます。演奏機器が接続されているにもかかわらず、「プレーヤーエンソウ」を表示できないときは設定スイッチを確認してください(67ページ)。

### 1 機能ボタン設定メニューで「プレーヤー エンソウ」を表示する。

### 2 **決定**を押す。

プレーヤー演奏設定画面が表示されます。

### 3 選択ダイヤルを回し、ディスク番号を選択する。

### 4 選択ダイヤルを押す。

ディスク番号→チャンネル番号→曲番号の順にカーソルが移動します。

### 5 手順3、4を繰り返してチャンネル番号、曲番号を選択する。

設定できるディスク番号、チャンネル番号、曲番号については43ページの表をお読みください。

### 6 登録するときは**決定**を押す。

登録せずに、プレーヤー演奏設定画面に戻るときは**戻る**を押す。

- ▶ **決定**を押すと、液晶画面に、「セッテイヲ ホゾンシマシタ」とメッセージが表示され、設定内容が登録されます。メッセージは自動的に消え、機能ボタン設定メニューに戻ります。手順1からの操作を繰り返すことで、ほかの機能ボタンにプレーヤー演奏を設定できます。

- ▶ **戻る**を押すと、設定を登録せずに、プレーヤー演奏設定画面に戻ります。

図 プレーヤー演奏設定画面

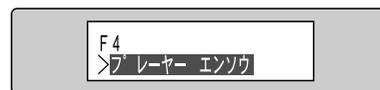
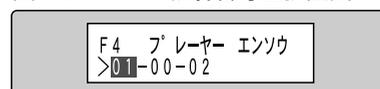


図 プレーヤー演奏番号選択画面



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ  
ホゾンシマシタ」を表示後、機能ボ  
タン設定メニューに戻る。

## ●機能ボタンに名前を付ける

- 1 機能設定メニューで「キーメイショウ」を表示する。
- 2 **決定**を押す。  
文字入力画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回し、文字を選択する。  
名前は10文字以内で設定してください。文字の入力方法は、88ページをお読みください。
- 4 名前を入力後、**決定**を押す。  
登録確認メッセージが表示されます。
  - ▶ 設定するときは「ハイ」を選択後、**決定**を押します。ボタン名称が設定され、機能ボタン設定メニューに戻ります。
  - ▶ 名称を修正するときは、「イイエ」を選択後、**決定**を押します。文字の入力に戻ります。
  - ▶ 入力した内容を取り消すときは**戻る**を押してください。**戻る**を押すと、文字入力画面に戻ります。

図 キー名称設定画面

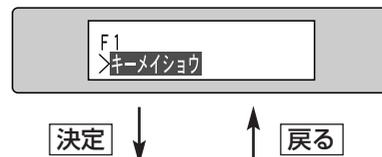


図 文字入力画面



図 登録確認メッセージ



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ  
ホゾンシマシタ」を表示後、機能ボ  
タン設定メニューに戻る。

## キーロック設定

キーロック時、機能ボタンの操作を有効にするか、無効にするかを設定します。

1 72 ページ1～3の操作を行い、システム設定メニューを表示する。

2 選択ダイヤルを回し、「キーロック セッテイ」を表示する。

3 **決定** を押す。

キーロック設定画面が表示されます。

4 選択ダイヤルを回し、「Fキー ユウコウ」または「Fキー ムコウ」を選択する。

ユウコウ：キーロック時、機能ボタンを操作できるようにします。

ムコウ：キーロック時、機能ボタンを操作できないようにします。

5 登録するときは**決定** を押す。

登録せずに、システム設定メニューに戻るときは**戻る** を押す。

▶ **決定** を押すと、液晶画面に、「セッテイヲ ホゾンシマシタ」とメッセージが表示され、設定内容が登録されます。メッセージは自動的に消え、システム設定メニューに戻ります。

▶ **戻る** を押すと、設定を登録せずに、システム設定メニューに戻ります。

図 システム設定メニュー



図 キーロック設定画面



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ ホゾンシマシタ」を表示後、システム設定メニューに戻る。

## 通電時の起動方法の設定（オートスタート）

電源投入時または停電復旧時、自動的にプログラムを実行するかどうか、または電源切断時の状態に戻るかを設定します。

- 1 72ページ1～3の操作を行い、システム設定メニューを表示する。

図 システム設定メニュー



- 2 選択ダイヤルを回し、「オートスタート」を表示する。



- 3 **決定**を押す。

オートスタート設定画面が表示されます。

図 オートスタート設定画面



### 選択ダイヤルを回し、起動方法を選択する。

以下のいずれかを選択できます。

ON : 通電直後（または停電復旧直後）、必ず、日時に割り当てられているプログラムを実行します。

OFF : 通電直後（または停電復旧直後）、プログラムは実行しません。使用するプログラムを手動で実行する必要があります。

AUTO : 電源切断時（停電時）の状態に戻ります。  
例えば、プログラム実行中に電源を切断した場合、通電直後、日時に割り当てられているプログラムを実行します。プログラム停止中だった場合はプログラムを停止します。



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ ホゾンシマシタ」を表示後、システム設定メニューに戻る。

- 4 登録するときは**決定**を押す。

登録せずに、システム設定メニューに戻るときは**戻る**を押す。

- ▶ **決定**を押すと、液晶画面に、「セッテイヲ ホゾンシマシタ」とメッセージが表示され、設定内容が登録されます。メッセージは自動的に消え、システム設定メニューに戻ります。

- ▶ **戻る**を押すと、設定を登録せずに、システム設定メニューに戻ります。

## 日付変更時刻の設定

店舗の営業時刻に合わせて日付変更時刻を設定します。例えば、深夜2時に閉店する店舗などで本機を使用する場合、この機能を使用し、日付変更時刻を02:00:00に変更すると、02:00:00まで当日のプログラムとしてプログラムを作成できます。

- 1 72ページ1～3の操作を行い、システム設定メニューを表示する。

図 システム設定メニュー



- 2 選択ダイヤルを回し、「ヒツケ ヘンコウ ジコク」を表示する。



- 3 **決定** を押す。

日付変更時刻設定画面が表示されます。

お買い上げ時は「00:00:00」に設定されています。

図 日付変更時刻設定画面



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ ホゾンシマシタ」を表示後、システム設定メニューに戻る。

- 4 選択ダイヤルを回し、「時 (24時間制)」を選択する。

選択ダイヤルを押すと、「時」→「分」→「秒」の順にカーソルが移動します。選択ダイヤルを回して「時」、「分」、「秒」を設定します。

- 5 登録するときは**決定**を押す。

登録せずに、システム設定メニューに戻るときは**戻る**を押す。

- ▶ **決定**を押すと、液晶画面に、「セッテイヲ ホゾンシマシタ」とメッセージが表示され、設定内容が登録されます。メッセージは自動的に消え、システム設定メニューに戻ります。
- ▶ **戻る**を押すと、設定を登録せずに、システム設定メニューに戻ります。

**メモ** 日付変更時刻は、設定された時刻になった時点でその当日のスケジュールに切り換わる機能です。例えば、02:00:00に設定されている場合は、実際の日付が変わった2時間後に本機の日付が変わります。



## 制御出力名称の設定

用途が分かるように制御出力番号に名前を付けることができます。

- 1 72ページ1～3の操作を行い、システム設定メニューを表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、「リレー メイショウ」を表示する。
- 3 **決定**を押す。  
リレー名称（制御出力名称）設定画面が表示されます。
- 4 選択ダイヤルを回し、名前を設定する制御出力番号を選択する。
- 5 **決定**を押す。  
リレー名称入力画面が表示されます。  
88ページを参照し、制御出力名称を入力してください。  
名前は12文字以内で指定してください。
- 6 名前を入力後、**決定**を押す。取り消すときは**戻る**を押す。
  - ▶ **決定**を押すと登録確認メッセージが表示されます。
    - ・設定するときは「ハイ」を選択後、**決定**を押します。  
ボタン名称が設定され、リレー名称設定画面に戻ります。
    - ・名称を修正するときは、「イイエ」を選択後、**決定**を押します。文字の入力に戻ります。
  - ▶ 入力した内容を取り消すときは**戻る**を押してください。  
文字入力画面に戻ります。

図 システム設定メニュー



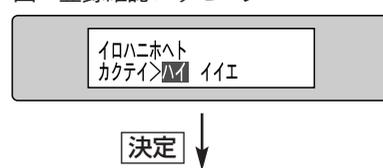
図 リレー名称設定画面



図 文字入力画面



図 登録確認メッセージ



**決定**を押すとメッセージ「セッテイヲ ホゾンシマシタ」が表示され、自動的にリレー名称設定画面に戻る。

## RS-232C 端子接続機器、増設リレーユニットの台数の設定

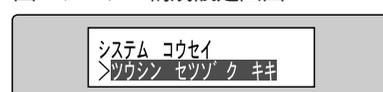
増設リレーユニットの有無（接続している場合はその台数）またはRS-232C端子に接続されている機器を設定します。67ページの設定スイッチの設定も行ってください。

- 1 72ページ1～3の操作を行い、システム設定メニューを表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、「システム コウセイ」を表示する。

図 システム設定メニュー



図 システム構成設定画面



次ページへつづく

3 **決定**を押す。  
システム構成設定画面が表示されます。

4 **選択ダイヤル**を回し、**設定する項目**を選択する。  
以下のいずれかの項目を選択します。  
ツウシンセツゾクキキ：RS-232C 端子に接続されている機器を設定します。WZ-DP100 を接続時は、WZ-DP150に、WZ-DP200 を接続時は、WZ-DP250に設定します。  
ゾウセツリレーユニット：増設リレーユニットの台数を設定します。

5 **決定**を押す。  
RS-232C 接続機器設定画面または増設リレーユニット設定画面が表示されます。

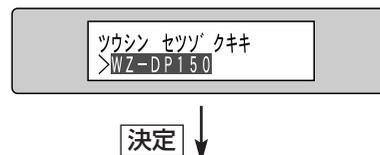
6 **選択ダイヤル**を回し、**接続機器または増設台数**を選択する。  
選択項目は下表を参照してください。

7 **登録するとき**は**決定**を押す。  
**登録せずに、設定画面に戻るとき**は**戻る**を押す。  
▶ **決定**を押すと、液晶画面に、「セッテイヲ ホゾンシマシタ」とメッセージが表示され、設定内容が登録されます。メッセージは自動的に消え、システム構成設定画面に戻ります。  
▶ **戻る**を押すと、設定を登録せずに、システム構成設定画面に戻ります。

図 システム構成設定画面



図 RS-232C 接続機器設定画面



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ ホゾンシマシタ」を表示後、システム構成設定画面に戻る。

図 システム構成設定画面



図 増設リレーユニット設定画面



液晶画面にメッセージ「セッテイヲ ホゾンシマシタ」を表示後、システム構成設定画面に戻る。

表 指定可能機器または増設台数

設定項目	設定スイッチの設定	選択項目
RS-232C 接続機器	2 : ON	WZ-DP150 (デジタルIC プレーヤー)
		WZ-DP100 (デジタルIC プレーヤー)
		WZ-DP250 (デジタルIC レコーダー)
		WZ-DP200 (デジタルIC レコーダー)
		WB-651 (CD ミュージックプレーヤー：1枚タイプ)
		WB-655 (CD ミュージックプレーヤー：5枚タイプ)
	2 : OFF	PC (パーソナルコンピューター)
増設リレーユニットの台数	—	0~9台※

※：増設リレーユニットと接点制御出力番号の関係は39ページをお読みください。

注：システム構成をよく確認してから設定してください。設定を間違ると、通電開始時に、初期化エラーが発生し、誤動作する場合があります。

# システム設定のセーブとロード

本機はシステム設定内容をPCカードにセーブできます。また、PCカードにセーブされている設定内容をロードして、本機を設定することもできます。

なお、システム設定のセーブまたはロードはユニット設定メニューで行います。ユニット設定の実行方法は69ページをお読みください。

- 重要**
- ・ PCカードは別途ご用意願います。使用できるPCカードについては、12ページをご覧ください。
  - ・ アクセス表示が点灯しているときに、PCカードを取り出ししたり、本機の電源を切ったりしないでください。PCカードまたはPCカードに記録されているデータが破損します。
  - ・ プログラムをセーブするためには、PCカードに1MB以上の空きが必要です。

## セーブのしかた

システム設定をPCカードに保存する場合は、以下の手順で操作します。

- 1 PCカードスロットにPCカードを挿入する。**  
PCカードスロットは前面ふた内にあります。  
PCカードを挿入して約10秒後にアクセス表示が一瞬点灯します。
- 2 69ページ1～3の操作を行い、ユニット設定メニューを表示する。**
- 3 選択ダイヤルを回し、「システム セッテイ セーブ」を表示する。**
- 4  を押す。**  
ファイル名選択画面が表示されます。
- 5 選択ダイヤルを回し、ファイル名を選択する。**  
PCカードに、保存されているシステム設定データがある場合、ファイル名が表示されます。ファイル名を選択すると、PCカードにセーブされている設定データを上書きします。  
選択ダイヤルを回して「シンキ」を選び、 を押すとファイル名入力画面が表示されます。  
88ページを参照し、ファイル名を入力してください。

図 PCカード挿入のしかた

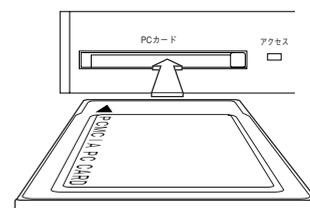


図 ユニット設定メニュー

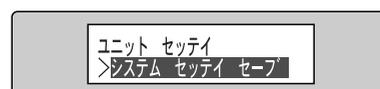
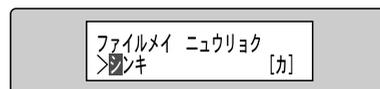


図 ファイル名選択画面



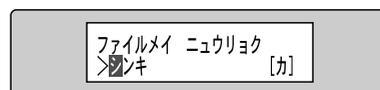
図 ファイル名入力画面



- メモ** 新規にファイル名を入力する場合、ファイル名は8文字以下としてください。

- 6 **ファイル名を選択または入力後、決定を押す。**  
 確認メッセージが表示されます。
- ・確認メッセージの上段に、ファイル名が表示されます。ファイル名には識別子 (.SET) が自動的に付加されます。
  - ・PCカードに保存されているファイルを選択した場合、確認メッセージの「セーブ」は「ウワガキ」になります。

図 ファイル名入力画面



決定 ↓ ↑ 戻る

図 確認メッセージ



決定 ↓ ↑ 戻る

図 セーブ中画面

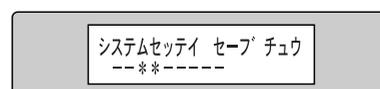


図 セーブ完了メッセージ

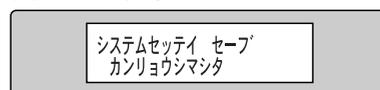
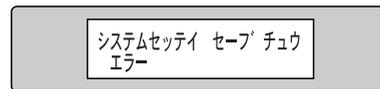


図 エラーメッセージ



- 7 **選択ダイヤルを回し、「ハイ」または「イエ」を選択する。**  
 ファイル名を修正するときは戻るを押します。ファイル名選択画面に戻ります。

- 8 決定を押す。

▶ **「ハイ」を選択した場合**

「ハイ」を選択後、決定を押すとシステム設定のセーブが開始されます。

セーブ中、右のように画面が遷移します。セーブ完了メッセージ（またはユニット設定メニュー）が表示されるまでPCカードは取り出さないでください。

セーブ完了メッセージ表示後、自動的にユニット設定メニューに戻ります。

セーブには最大3分程度かかることがあります。

セーブ中、エラーが発生するとエラーメッセージを表示します。

エラーが表示されたときは、決定を押してください。

ユニット設定メニューに戻ります。

▶ **「イエ」を選択した場合**

「イエ」を選択後、決定を押すとシステム設定のセーブを中止しファイル名選択画面に戻ります。

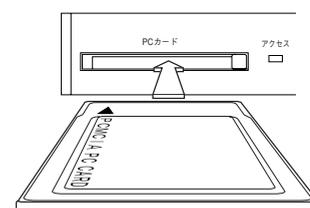
- メモ** セーブ中、エラーメッセージが表示されたときは、次の内容を確認してください。
- ・PCカードに、システム設定をセーブするために必要な空きがあるか？（確認はPCカードスロットを装備したパーソナルコンピュータで行ってください。）
  - ・PCカードスロットに、PCカードが正しく挿入されているか？  
 確認後、再度エラーが発生するときは販売店にご相談ください。

## ロードのしかた

- 1 **PCカードスロットに、システム設定がセーブされているPCカードを挿入する。**

PCカードスロットは前面ふた内にあります。PCカードを挿入して約10秒後にアクセス表示が一瞬点灯します。

図 PCカード挿入のしかた



2 69ページ1～3の操作を行い、ユニット設定メニューを表示する。

3 選択ダイヤルを回し、「システム セッテイ ロード」を表示する。

4 **決定**を押す。

ファイル名選択画面が表示されます。

液晶画面の下段に、PCカードに保存されているシステム設定ファイルの名前が表示されます。

**メモ** 本機は識別子として「.SET」が附加されているファイルシステム設定ファイルとして認識します。PCカードに、パソコンなどで識別子「.SET」のファイルを作成すると、そのファイルも設定ファイルとして認識されますのでご注意ください。

5 選択ダイヤルを回し、ファイル名を選択する。

PCカードに、システム設定ファイルがセーブされていない、または設定ファイルが1つしかセーブされていない場合は、ファイルを選択することはできません。

6 ファイル名を選択した後、**決定**を押す。

確認メッセージが表示されます。

#### ▶ 「ハイ」を選択した場合

「ハイ」を選択後、**決定**を押すとシステム設定のロードが開始されます。

ロード中、右のように画面が遷移します。

ロード完了メッセージ（またはユニット設定メニュー）が表示されるまで、PCカードは取り出さないでください。

ロード完了メッセージは自動的に消え、ユニット設定メニューに戻ります。

ロードには最大1分程度かかることがあります。

#### ▶ 「イイエ」を選択した場合

「イイエ」を選択後、**決定**を押すとシステム設定のロードを中止し、ファイル名選択画面に戻ります。

**メモ** ロード中、エラーが発生するとエラーメッセージを表示します。エラーが表示されたときは、**決定**を押してください。ユニット設定メニューに戻ります。

PCカードが正しく挿入されているかを確認し、再度操作してください。PCカードが正しく挿入されているにも関わらずエラーが発生する場合は販売店にご相談ください。

図 ユニット設定メニュー



図 ファイル名選択画面



図 確認メッセージ



図 システム設定ロード中



図 ロード完了メッセージ

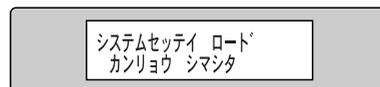


図 エラーメッセージ

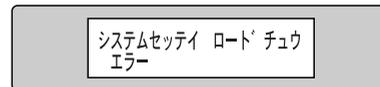
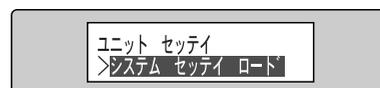


図 ユニット設定メニュー



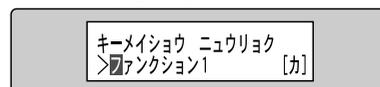
# 文字の入力方法

ここでは、機能ボタンの名称の入力方法を例に、文字の入力方法を説明します。リレー名称、プログラム設定ファイル、システム設定ファイルの名前も同様の方法で入力できます。

## 1 選択ダイヤルを回し、文字を選択する。

選択ダイヤルを押すと、文字を入力する位置を移動できます（カーソルが右に一文字分移動します）。文字の種類は液晶画面の右下に表示されています。入力できる文字種と入力に使用するボタンは、表「文字種と使用するボタン」を参照してください。

図 キー名称入力画面



## 2 キー名称を設定するときは「決定」を押す。取り消すときは「戻る」を押す。

「決定」を押すと確認メッセージが表示されます。

図 確認メッセージ



- ▶ 設定するときは、「ハイ」を選択後、「決定」を押してください。ボタン名称が設定され、機能設定メニューに戻ります。
- ▶ 設定を中止するときは「イイエ」を選択後、「決定」を押します。名称を登録せずに、キー名称入力画面に戻ります。

表 文字種と使用するボタン

項目	内容
入力できる文字	カタカナ(半角) : ア～ン、ア～オ、ヤ、ユ、ヨ、ツ、ー、ゝ、° (スペース) 英数字・記号 : 0～9、A～Z、a～z、・!#\$%()_-=+_[ ] (スペース)
文字種の切り換え	「切換」を押す。カタカナ [カ] ↔ 英数字 [A]
入力位置の移動	選択ダイヤルを押す (右にカーソル移動)。
文字の削除	「削除」を押す (カーソル位置の文字を削除)。
文字の挿入	「挿入」を押すと以下の文字を挿入します。 カタカナ入力時 : 「ア」 英数字入力時 : 「0」
文字数	ファイル名 8文字 制御出力名称 12文字 機能ボタン名称 10文字

# 時計補正方法の設定

## 時計補正について

内部時計を補正する「基準となる信号」を次の2とおりから選択できます。

- ・親時計による補正（補正時刻 0:42, 4:42, 8:42, 12:42, 16:42, 20:42）
- ・外部FMチューナーからの音声による補正（補正時刻 12:00）

音声による時計補正は、外部FMチューナーからの時報（ピ、ピ、ピ、ポーンの880 Hz音）で行われます。この音は、NHK-FMチャンネルで放送される正午の時報などに含まれています。外部FMチューナーで時計を補正する場合は、前面パネル内部にあるモニター出力端子に、ヘッドホンを接続し、受信音声がかえるかどうか確認してください。

親時計または外部FMチューナーの接続のしかたは63ページまたは64ページをお読みください。

**重要** 複数の補正方法を組み合わせて使用することはできません。必ず、親時計、外部FMチューナーのいずれか1つだけ選択してください。

表 時計補正機器と補正方法の関係

補正方法	接続の有無（設定内容）	
	親時計	外部FMチューナー
親時計	接続	接続しないこと
外部FMチューナー	接続しないこと	接続

## FMチューナーで時計補正を行う場合

音声レベルの低いFMチューナーを使用すると、時計補正が正しく行われない場合があります。この場合は、しきい値調整画面で受信レベルを調整する必要があります。

次のように操作してください。

- (1) 時報受信時、受信レベルに「>」表示されているか確認する。
- (2) 選択ダイヤルを回して、しきい値を300に変更する。

## メモ

時報は、1日数回放送されます。受信レベルは時報受信時に確認することができます。ただし、本機の時計補正は正午（12:00）に行われます。

時計補正信号（12:00の放送）を受信しているにもかかわらず時計を補正できないときは、次の操作を行ってください。

- ・本機の時計と現在時刻との差が±15秒以上あるときは、24ページを参照し、手動で時刻を修正してください。

図 メインメニュー



図 しきい値調整画面



図 しきい値調整画面



上段：設定バー

下段 数値：しきい値

\* \* > > > 受信レベル

# 設定の初期化

システムの設定内容をお買い上げ時の状態に戻すときは次の手順で操作します。

**重要** 設定を初期化すると作成したプログラムも消去されます。システムの設定のみ初期化することはできません。

1 69ページ1～3の操作を行い、ユニット設定メニューを表示する。

2 選択ダイヤルを回し、「セッテイ ショキカ」を表示する。

3 **決定** を押す。  
**決定** を押すと確認メッセージが表示されます。

▶ 初期化を実行するときは「ハイ」を選択後、**決定** を押し  
てください。

右図のように画面が遷移し、システム設定がお買い上げ  
時の状態に戻ります。また、作成したプログラムがすべて  
消去されます。

初期化が完了すると、初期化完了メッセージ表示後、ユ  
ニット設定メニューに戻ります。

▶ 初期化しないときは、「イイエ」を選択後、**決定** を押し  
ます。初期化せずに、ユニット設定メニューに戻ります。

**メモ** 制御出力の手動制御を実行している場合、その制御状態はクリア  
されません。

図 ユニット設定メニュー



図 確認メッセージ

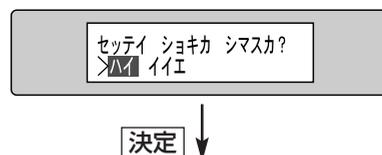


図 設定初期化中

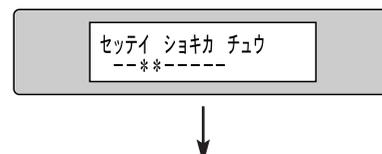
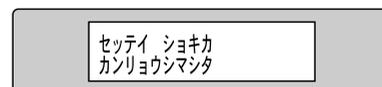


図 初期化完了メッセージ



# ユニット点検

ユニット点検で、下表の項目を点検できます。

表 ユニット点検項目

点検項目	概要
通信チェック	RS-232C端子に、演奏機器を接続している場合、接続されている機器と正常に通信可能かどうか点検します。
電池チェック	バックアップ電池の電圧を点検します。
プレーヤー演奏チェック	音楽またはメッセージ番号を指定して、正しく再生できるかどうか点検します。
リレー動作チェック	リレー動作の点検は、次の2つがあります。 ・全接点制御出力を1つずつONにして点検する（5秒ごとに接点制御出力を切り換え）（リレー動作チェック1）。 ・全接点制御出力を同時にON/OFFして点検する（1秒ごとにON/OFFを切り換え）（リレー動作チェック2）。

## ユニット点検の実行

ユニット点検を行う場合、以下の手順で操作してください。

- 1 **決定** を押し、液晶画面にメインメニューを表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、「ユニット テンケン」を表示する。
- 3 **決定** を押す。  
確認メッセージが表示されます。
  - ▶ ユニット点検を行うためには、現在実行中のプログラムを停止する必要があります。本当に停止して良い場合は**決定**を押します。**決定**を押すと、ユニット点検メニューが表示されます。
  - ▶ ユニット点検を中止する場合は、時刻が表示されるまで**戻る**を押してください。
- 4 選択ダイヤルを回し、設定項目を選択する。  
点検項目を選択し、**決定**を押すと点検画面が表示されます。
- 5 ユニット点検を終了するときには、時刻が表示されるまで**戻る**を押す。  
その後、手でプログラムを実行してください。プログラムの実行のしかたは23ページをお読みください。

図 メインメニュー



図 確認メッセージ



図 ユニット点検メニュー



## 通信チェック

この項目で機器と通信を行い、正しく接続されているかどうか点検できます。

- 1 91 ページ1～3の操作を行い、ユニット点検メニューを表示する。

図 ユニット点検メニュー



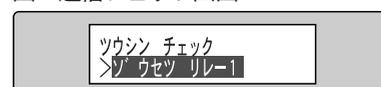
- 2 選択ダイヤルを回し、「ツウシン チェック」を表示する。



- 3 **決定** を押す。

通信チェック画面が表示されます。

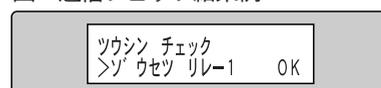
図 通信チェック画面



- 4 選択ダイヤルを回し、点検項目を選択する。

点検できる項目は、設定スイッチおよびシステム設定メニュー（システム構成設定画面）の設定によって異なります。詳細は下表を参照してください。

図 通信チェック結果例



- 5 **決定** を押す。

チェック結果が表示されます。

チェックした結果、異常がない場合は、「OK」と表示されます。

「NG」と表示された場合は、該当する機器との結線を確認してください。

- 6 点検結果確認後、**決定** を押す。

通信チェック画面に戻ります。

表 点検項目

### 設定スイッチの設定

#2 設定内容（接続機器） 点検項目で選択できる項目

ON	演奏機器接続	演奏機器、増設リレー1～増設リレー9*
OFF	PC接続	PC、増設リレー1～増設リレー9*

※：増設リレーユニットの接続台数（システム構成メニューで設定した台数）によって点検範囲は変わります。

## バックアップ電池の電圧チェック

この項目で、内蔵バックアップ電池の電圧を確認できます。

1 91 ページ1～3の操作を行い、ユニット点検メニューを表示する。

2 選択ダイヤルを回し、「デンチ チェック」を表示する。

3 **決定** を押す。

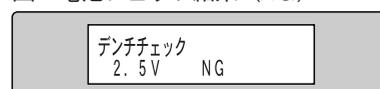
▶ バックアップ電池の電圧のチェック結果が表示されます。チェックした結果、異常がない場合は、「OK」と表示されます。

▶ バックアップ電池の電圧が2.8Vより低くなると「NG」が表示されます。また、動作中に「バッテリーエラー ハッセイ」が表示されます。「NG」と表示された場合、または動作中に「バッテリーエラー ハッセイ」が表示された場合はバックアップ電池を交換する必要があります。なお、バックアップ電池の交換は、販売店にご相談ください。

図 ユニット点検メニュー



図 電池チェック結果 (NG)



## プレーヤー演奏のチェック

この項目でRS-232C端子に接続した演奏機器に対し、指定した音楽またはメッセージを放送できるかどうか点検できます。

1 91 ページ1～3の操作を行い、ユニット点検メニューを表示する。

2 選択ダイヤルを回し、「プレーヤーエンソウチェック」を表示する。

3 **決定** を押す。

演奏機器チェック画面が表示されます。

4 ディスク番号、チャンネル番号、および曲番号を指定後、**決定** を押す。

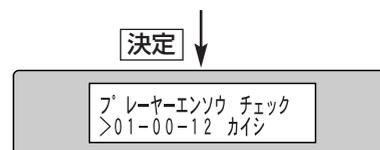
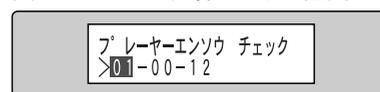
指定のしかたは、42ページをお読みください。

**決定** を押すと、右上図のように液晶画面が遷移し、音楽またはメッセージが放送されます。指定した音楽またはメッセージが放送されているか確認してください。

図 ユニット点検メニュー



図 プレーヤー演奏チェック画面



自動的に、演奏チェック画面に戻る

**メモ** 指定した曲またはメッセージが放送されなかったときは、次の項目を確認してください。

- ・設定スイッチの設定 (67 ページ)
- ・システム構成 (83 ページ)
- ・演奏機器側の設定

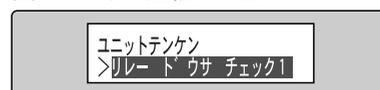
上記項目を確認後、通信チェック (前ページ) を行ってください。

## リレー動作のチェック

この項目で、制御出力の動作状況を確認できます。確認の方法には、リレー動作チェック1（5秒間隔）とリレー動作チェック2（1秒間隔）の2つがあります。

1 91 ページ1～3の操作を行い、ユニット点検メニューを表示する。

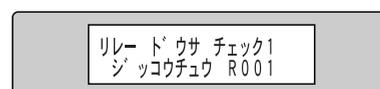
図 ユニット点検メニュー



2 選択ダイヤルを回し、「リレー ドウサ チェック1」または「リレー ドウサ チェック2」を表示する。



図 リレー動作チェック1実行中



3 **決定** を押す。

接点制御出力の点検が開始されます。接点制御出力が動作（ON／OFF）することを確認してください。

### ▶ リレー動作チェック1の場合

全接点制御出力を1つずつ順番にONにして点検します（5秒ごとに接点制御出力を切り換え）。

点検実行中、液晶に点検中の接点制御出力の番号が表示されます。

図 ユニット点検メニュー

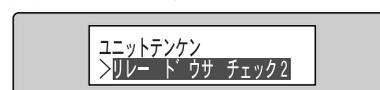
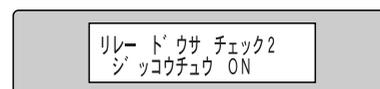


図 リレー動作チェック2実行中

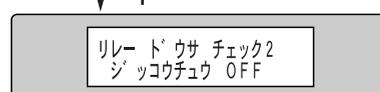


### ▶ リレー動作チェック2の場合

全接点制御出力を同時にON／OFFして点検します（1秒ごとにON／OFFを切り換え）。

3 点検を終了するときは **決定** または **戻る** を押す。ユニット点検メニューに戻ります。

↓ ↑ 1秒間隔で切り換わる



# 設定用紙

## 設定スイッチ設定表

設定スイッチ1～2の設定を記入する(スイッチの位置を塗りつぶす)。

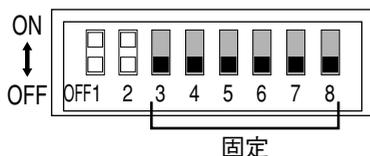


表 設定スイッチ設定方法

設定スイッチ 番号	機能概要	設定内容	お買い上げ 時の設定	備 考
1	前面/後面どちらのRS-232C端子を使用するかを設定する。	ON : 前面 OFF : 背面	OFF	同時に、前面/後面の端子を使用することはできません。
2	RS-232C端子に接続されている機器の種別を設定する。	ON : 演奏機器 OFF : パソコン	OFF	

## ユニット設定表

ユニット設定メニューの設定値をチェックする。または、設定内容を記入する。

項目	設定内容
時計	<input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/> 分 設定した日時を記入すること。
機能ボタン	「機能ボタン設定表」に記入のこと。
キーロック	<input type="checkbox"/> 機能ボタン有効 <input type="checkbox"/> 機能ボタン無効
オートスタート	<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF <input type="checkbox"/> AUTO
日付変更時刻	<input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/> 分 <input type="checkbox"/> 秒 設定した日時を記入すること。
リレー名称	リレー名称登録表に記入すること。
システム構成	RS-232C接続機器 <input type="checkbox"/> WZ-DP150 <input type="checkbox"/> WZ-DP250 <input type="checkbox"/> WB-651 <input type="checkbox"/> WB-655 <input type="checkbox"/> WZ-DP100 <input type="checkbox"/> WZ-DP200 <input type="checkbox"/> PC 増設リレー <input type="checkbox"/> 増設ユニット (    台 ) ユニット

## 時計補正入力設定表

上記項目以外の設定値をチェックする。または設定内容を記入する。

項目	設定内容
補正方法	<input type="checkbox"/> 親時計 <input type="checkbox"/> 外部FMチューナー
しきい値	<input type="checkbox"/> 初期値 500 <input type="checkbox"/> その他 (    )

コピーしてお使いください。

# 機能ボタン設定表

機能ボタンに関する設定内容を記入する。1つのボタンに複数の機能を割り当てることはできません。

ボタン	名称	個別リレー 操作	複数リレー操作	音源起動			プログラム 差換
				Disc#	CH#	曲#	
F1	<input type="checkbox"/> (名称 )	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> ON (制御出力番号を記入)	<input type="checkbox"/> ( )	-	-	<input type="checkbox"/> (D )
			<input type="checkbox"/> OFF				
F2	<input type="checkbox"/> (名称 )	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> ON (制御出力番号を記入)	<input type="checkbox"/> ( )	-	-	<input type="checkbox"/> (D )
			<input type="checkbox"/> OFF				
F3	<input type="checkbox"/> (名称 )	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> ON (制御出力番号を記入)	<input type="checkbox"/> ( )	-	-	<input type="checkbox"/> (D )
			<input type="checkbox"/> OFF				
F4	<input type="checkbox"/> (名称 )	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> ON (制御出力番号を記入)	<input type="checkbox"/> ( )	-	-	<input type="checkbox"/> (D )
			<input type="checkbox"/> OFF				
F5	<input type="checkbox"/> (名称 )	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> ON (制御出力番号を記入)	<input type="checkbox"/> ( )	-	-	<input type="checkbox"/> (D )
			<input type="checkbox"/> OFF				

名称：10文字以内

個別リレー操作：操作する接点制御出力または通信制御出力の番号を記入すること。

複数リレー操作：同時に操作する接点制御出力の番号を記入すること。

プレーヤー演奏：ディスク番号、チャンネル番号、曲番号を記入すること。

プログラム差換：差し換えるプログラム（特定日D01～D16）を記入すること。

コピーしてお使いください。

# リレー名称登録表

名称欄：接点制御出力の名称を記入する。

## 接点制御出力 (R001～R008、R010～R099)

### WZ-647

番号	名称
R001	
R002	
R003	
R004	
R005	
R006	
R007	
R008	

### 増設リレーユニット1

番号	名称
R010	
R011	
R012	
R013	
R014	
R015	
R016	
R017	
R018	
R019	

### 増設リレーユニット2

番号	名称
R020	
R021	
R022	
R023	
R024	
R025	
R026	
R027	
R028	
R029	

### 増設リレーユニット3

番号	名称
R030	
R031	
R032	
R033	
R034	
R035	
R036	
R037	
R038	
R039	

### 増設リレーユニット4

番号	名称
R040	
R041	
R042	
R043	
R044	
R045	
R046	
R047	
R048	
R049	

### 増設リレーユニット5

番号	名称
R050	
R051	
R052	
R053	
R054	
R055	
R056	
R057	
R058	
R059	

### 増設リレーユニット6

番号	名称
R060	
R061	
R062	
R063	
R064	
R065	
R066	
R067	
R068	
R069	

### 増設リレーユニット7

番号	名称
R070	
R071	
R072	
R073	
R074	
R075	
R076	
R077	
R078	
R079	

### 増設リレーユニット8

番号	名称
R080	
R081	
R082	
R083	
R084	
R085	
R086	
R087	
R088	
R089	

### 増設リレーユニット9

番号	名称
R090	
R091	
R092	
R093	
R094	
R095	
R096	
R097	
R098	
R099	

コピーしてお使いください。

# プログラム記入用紙

## 特定日用プログラム割付表

年間スケジュールとして使用する場合「月・日」を記入します。機能ボタンに割り当てて使用する場合（プログラム差換機能）は、F1～F5のいずれかを○で囲みます。

項目	使用用途					備考		
	年間スケジュール		プログラム差換					
D01	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D02	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D03	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D04	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D05	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D06	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D07	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D09	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D09	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D10	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D11	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D12	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D13	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D14	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D15	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	
D16	月	日	F1	F2	F3	F4	F5	





# エラーメッセージ一覧

分類	メッセージ	対処のしかた／確認項目	参照ページ
通電開始時	ショキカエラー ハッセイ 01～06 <原因>	販売店にご相談ください。 原因：エラー発生個所が表示されます。	
通電開始時／運用中	ツウシンエラー ハッセイ 06～09 <機器種別>	販売店にご相談ください。 機器種別：エラーの原因となった機器が表示されます。	
運用中	バッテリーエラー ハッセイ 10 <デンアツ テイカ>	販売店にご相談ください。	
	FLASHエラー ハッセイ 11～12 <原因>	プログラムまたはシステム設定書き込み中にエラーが発生しました。販売店にご相談ください。 原因：書き込み種別（プログラム／システム設定）	
	プレーヤーサイセイ エラー 13 <エンソウ デキマセン>	・設定スイッチの設定と機器構成が一致しているかを確認してください。	67ページ
		・システム設定メニュー（システム構成）の設定と機器構成が一致しているかを確認してください。	83ページ
		・プログラムで指定したディスク、チャンネル、曲番号が演奏機器に設定されているかを確認してください。	演奏機器の取扱説明書
プログラム関連	プログラム エラー 種別>制御出力番号>ステップ番号	該当する制御出力のステップを修正してください。  最大ステップ数（999ステップ）を超えています。	37ページ
PCカード	PCカード セーブエラー カード ガ アリマセン	空き容量が1MB以上あるPCカードに交換してください。 動作確認済みのPCカードを使用してください。	
	PCカード ロードエラー カード ガ アリマセン	PCカードスロットにPCカードをしっかりと挿入してください。 動作確認済みのPCカードを使用してください。 ※本メッセージはセーブ操作時にも表示されることがあります。	
	PCカード ロードエラー ファイル ガ アリマセン	システム設定ファイルまたはプログラムファイルがセーブされているPCカードを挿入してください。	
	プログラム ロード チュウ エラー	ロードが完了するまでPCカードを抜かないでください。PCカードを挿入後、ロードし直してください。	
	ロード エラー nnケン >種別	ロードしたプログラムにエラーがあります。 nnケン：エラーが発生したプログラム種別の合計 種別：エラーが発生したプログラムの種別（選択ダイヤルで切り換え）	
	プログラム セーブ チュウ エラー	セーブが完了するまでPCカードを抜かないでください。PCカードを挿入後、セーブし直してください。	
	システムセッテイ ロード チュウ エラー	ロードが完了するまでPCカードを抜かないでください。PCカードを挿入後、ロードし直してください。	
	システムセッテイ セーブ チュウ エラー	セーブが完了するまでPCカードを抜かないでください。PCカードを挿入後、セーブし直してください。	

# お買い上げ時の設定値

項目	値または状態
プログラム実行状態	OFF
リレー状態	OFF
リレー制御状態	AUTO
リレー名称	セッテン001～セッテン008 セッテン010～セッテン099
機能ボタン名	ファンクション1～ファンクション5
機能ボタン割り当て機能	なし
日付変更時刻	00:00:00
FMチューナーしきい値	500
LCDバックライト	AUTO
キーロック	Fキームコウ
オートスタート	AUTO
増設リレーユニットの台数	0
年間スケジュール	各日付の曜日
プログラム（曜日・特定日）	ステップなし
通信接続機器	WZ-DP250（デジタルICレコーダー）

# 索引

FMチューナー（時計補正）	64	週間プログラム	37
LCDバックライト	27	週間プログラムを作成する	40
LCDバックライト設定画面	27	手動制御	26
RS-232Cケーブル		手動制御画面	26
9pin-25pin	58	使用上のお願い	12
9pin-9pin	58	商品概要	2
RS-232C接続機器設定画面	84	初期化エラー	19
RS-232C端子接続機器（設定）	83	スケジュールの制御方法と優先順位	34
安全上のご注意	9	ステップ設定画面	28, 30, 40, 42
運用中の操作	20	制御切替画面	26
エラーメッセージ一覧	101	制御出力	4
演奏機器	4	端子の接点容量	58
接続	65	動作状況確認画面	25
～に対するプログラム（週間プログラム）	42	～に対するプログラム（週間プログラム）	40
～に対するプログラム（特定日）	44	～に対するプログラム（特定日）	44
～の再生	33	～のプログラムの修正	28
～の再生プログラムの修正	30	～番号選択画面	28, 40
オートスタート	81	～名称の設定	83
親時計（時計補正）	63	セーブ	4
各部の名前と働き	14, 55	システム設定	85
キーロックのしかた	21	プログラム	48
起動画面	19	接続ケーブル	58
機能概要	2	接続のしかた	58
機能ボタン設定メニュー	73	設置のしかた	57
機能ボタンによる操作	32	設定スイッチ設定表	95
今日	37	設定スイッチの設定	67
業務用放送の制御のしかた	59	設定用紙	95
警告	9	接点制御出力	4
工事説明	53	接点制御出力番号と増設リレーユニットとの関係	39
個別リレー操作		接点容量	55
設定画面	75	操作のしかた	19
操作方法	32	操作を始める前に	19
最大ステップ数	39	増設リレーユニット	62
作業概要（工事説明）	53	設定画面	84
作業手順（システム設定）	67	～の台数（設定）	83
しきい値調整画面	89	注意	11
時刻修正画面	24	通信チェック	92
時刻の修正	24	通信チェック画面	92
システム設定	67	デジタルICレコーダー／プレーヤー（接続）	61
設定項目	71	電圧チェック	93
設定の実行	72	電源コードの接続	68
設定メニュー	71	電源投入時の動作	19
		電源について	54
		動作状況の確認（制御出力）	25

特定日設定画面 .....	45	メインメニューによる操作 .....	22
特定日用プログラム .....	37	メッセージ／曲の指定方法 .....	31
割付表 .....	98	メニュー遷移図 .....	16
～を作成する .....	44	文字の入力方法 .....	88
時計の設定 .....	70		
時計補正できないときは .....	89	ユニット設定項目 .....	68
時計補正入力設定表 .....	95	ユニット設定表 .....	95
時計補正方法の設定 .....	89	ユニット設定メニュー .....	69
時計補正用機器（接続） .....	63	ユニット点検 .....	91
		ユニット点検項目 .....	91
年間スケジュール .....	37	ユニット点検メニュー .....	91
設定画面 .....	45		
～の作成 .....	45	リレー動作のチェック .....	94
		リレー名称設定画面 .....	83
パーソナルコンピューター（接続） .....	66	ロード .....	4
ハイパワーアンプ（接続） .....	60	システム設定 .....	86
日付変更時刻の設定 .....	82	プログラム .....	50
複数リレー操作（操作方法） .....	32	ロードエラー .....	51
複数リレー操作設定画面 .....	76	ロード中エラー .....	51
付属品 .....	3		
プレーヤー演奏設定画面 .....	78		
プレーヤー演奏のチェック .....	93		
プログラム			
記入表 .....	99		
記入用紙 .....	98		
作成作業の流れ .....	38		
作成時の注意 .....	39		
差換設定画面 .....	77		
種別選択画面 .....	50		
設定メニュー .....	40		
選択画面 .....	28, 40		
テスト画面 .....	46		
～の作成 .....	37		
～の差し換え .....	33		
～の実行・停止 .....	23		
～の修正 .....	28		
～の種類 .....	37		
～の消去 .....	52		
～のテスト .....	46		
～の優先順位 .....	37		

# 仕様

## 基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力	約19 W
内蔵バックアップ電池	コイン形リチウム1次電池CR2450 (交換の目安: 約4年)
内蔵時計精度	月差±5 秒以内 (周囲温度25 °Cで使用の場合)
使用温度範囲	0 °C~45 °C
電源供給コネクタ	3P AC インレット
質量	約4.2 kg
寸法	幅420 mm 高さ88 mm 奥行き230 mm (突起部除く)
仕上げ	AV ライトグレー色 (マンセルN8 近似色)

## 入出力仕様

### 制御出力

接点制御出力数	8 (ねじ端子)
接点形式	リレーによる無電圧メイク接点
接点容量	最大DC 30 V 3 A以下

### シリアル通信インターフェース

通信ポート	RS-232C (D-SUB9ピン、前面/後面切り換え、クロスケーブル対応)
接続台数	1台

### 増設リレーユニット用通信インターフェース

通信ポート	RS-422 (ねじ端子)
最大増設台数	9台
増設接点制御出力数	最大90接点
時計補正入力	
親時計入力	±24 V、30 秒式 (ねじ端子)
外部音声入力	-10 dBV / 10 kΩ (ねじ端子)

## 操作部

表示素子	液晶表示 16文字×2行
機能ボタン	5個 (F1~F5に機能を割り当てることによって使用可能)

## プログラム

プログラムの種類	週間プログラム7種類 (Sun~Sat)、特定日用プログラム16種類 (D01~D16)、今日プログラム1種類
ステップ数	1プログラム当たり999ステップ
スケジュール	年間スケジュール (特定日用プログラムを月日に割り当て)

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、  
お買い上げの販売店からお受け取りください。  
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

35ページにしたがってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、出張修理をさせていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客さまのご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ご連絡いただきたい内容

製品名	プログラムコントローラー
品番	WZ-647
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WZ-647
	販売店名	電話 ( )	—			

松下電器産業株式会社

パナソニック システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410